Aspire easyStore シリーズ

ユーザーズガイド

Aspire easyStore シリーズ
ユーザーズガイド

モデル番号 : ___________________________________

シリアル番号 : _________________________________

購入日 : _______________________________________

購入場所 : _____________________________________

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために

安全に関するご注意

以下の内容を良くお読み頂き、指示に従ってください。この文書は将来いつでも参照できるように保管しておいてください。本製品に表示されているすべての警告事項および注意事項を遵守してください。

製品のお手入れを始める前に、電源を切ってください

本製品を清掃するときは、電源コードをコンセントから引き抜いてください。液体クリーナーまたはエアゾールクリーナーは使用しないでください。水で軽く湿らせた布を使って清掃してください。

装置取り外しの際のプラグに関するご注意

電源コードを接続したり、外したりする際は、次の点にご注意ください。

コンセントに電源コードを接続する前に、電源ユニットを装着してください。

コンピュータから電源ユニットを外す前に、電源コードを外してください。

システムに複数の電源が接続されている場合は、電源からすべての電源コードを外してください。

アクセスに関するご注意

電源コードを接続するコンセントは、装置からできるだけ近く、簡単に手が届く場所にあることが理想的です。電源を取り外す必要があるとき、必ずコンセントから電源コードを抜いてください。

音量に関するご注意

聴覚障害を引き起こさないために、次の指示に従ってください。

- 音量を上げるときには、適度なレベルになるまで少しずつ音量を調整してください。
- 耳が音に慣れた後は、音量を上げないでください。
- 長時間高音量で音楽を聴かないでください。
- 周囲のノイズを遮断しようとして、それ以上に高音で音楽を聴かないでください。
- 近くで人が話している声が聞こえない程のレベルに音量を上げないでください。

警告

- 本製品が水溶液に触れるおそれのある所で使用しないでください。
- 本製品は、安定したテーブルの上に置いてください。不安定な場所に設置すると製品が落下して、重大な損傷を招く恐れがありますのでご注意ください。
- スロットおよび通気孔は通気用に設けられています。これによって製品の確実な動作が保証され、過熱が防止されています。これらをふさいだり、カバーをかけたりしないでください。ベッド、ソファーなどの不安定な場所に設置して、これらがふさがることがないようにしてください。本製品は、暖房器の近くでは絶対に使用しないでください。また、適切な通風が保証されないかぎり、本製品をラックなどに組み込んで使用することは避けてください。
- 本体のスロットから物を押し込まないでください。高圧で危険な個所に触れたり部品がショートしたりして、火災や感電の危険を招く恐れがあります。
- 内部パーツが破損したり、バッテリー液が漏れたりする場合がありますので、本製品は必ず安定した場所に設置してください。
- スポーツ中、ジムトレーニング中、あるいは振動の強い環境で使用すると、予想しない電源ショートが発生したり、ルーター装置、HDD、光学ドライブなどが故障したり、あるいはリチウムバッテリーが爆発したりする危険性があります。

電力の使用

- ラベルに表示されている定格電圧の電源をご使用ください。ご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーサービスセンターまたは現地の電気会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードは踏んだり引っ掛けやすいところに配置しないでください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品が定格電流の合計の許容範囲を超えないようにご注意ください。
- 複数の装置を 1 つのコンセントやストリップ、ソケットに接続すると負荷がかかりすぎてしまいます。システム全体の負荷は、支路の 80% を目安にこれを超えないようにしてください。電源ストリップを使用する場合は、電源ストリップの入力値の 80% を越えないようにしてください。
- 本製品の AC アダプターにはアース線付き 2 ピン電源プラグが付いています。電源プラグのアース端子をコンセントのアース端子に接続することをお勧めします。機器の故障により、万一漏電した場合でも感電を防止することができます。



警告！接地ピンは安全対策用に設けられています。正しく接地されていないコンセントを使用すると、電気ショックや負傷の原因となります。



注意：アースは、本製品とその近くにある他の電気装置との干渉により生じるノイズを防止する役割も果たします。

- 専用の電源ケーブルを使用してください (アクセサリーボックスに入っています)。差し込み / 引き抜き可能タイプ：UL/CSA 認証、SVT タイプ、最小規格電流電圧 7A 125V、VDE 等の認証。最長 4.6 メートルです。

補修

お客様ご自身で修理を行わないでください。本製品のカバーを開けたりはずしたりすると、高圧で危険な個所に触れたりその他の危険にさらされるおそれがあります。本製品の修理に関しては、保証書に明示されている保守サービス会社にお問い合わせください。

次の場合、本製品の電源を OFF にし、コンセントからプラグを引き抜き、保証書に明示されている保守サービス会社にご連絡ください。

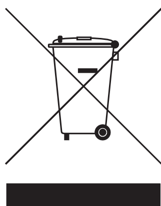
- 電源コードまたはプラグが損傷したり擦り切れたりしたとき。
- 液体が本製品にこぼれたとき。
- 本製品が雨や水にさらされたとき。
- ユーザは、操作指示として述べられている個所だけを調整してください。それ以外の部分を間違って調整した場合、障害が生じ、正常動作の状態に戻すまで必要以上に時間がかかることがありますのでご注意ください。
- 本製品を落としたとき、またはケースが損傷したとき。
- 本製品に問題が生じ、サービスを必要とするとき。



注意：取り扱い説明書に記載されている場合を除き、その他のパーツを無断で調整するとパーツが破損する場合があります。その場合、許可を受けた技術者が補修する必要があるため正常の状態に戻すまでに時間がかかります。

破棄について

この電子装置は家庭用ゴミとして廃棄しないでください。地球環境を保護し、公害を最低限に留めるために、再利用にご協力ください。WEEE (Waste from Electrical and Electronics Equipment) 規定についての詳細は、http://global.acer.com/about/sustainability.htm をご参照ください。



規制と安全通知

FCC 規定

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置はラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用されない場合、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証はいたしかねます。この装置がラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は (装置の電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために以下の方法にしたがって操作してください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- この装置と受信装置の距離をあける
- この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーもしくは経験のあるラジオ /TV 技術者に問い合わせる

注意：シールドケーブル

本製品にほかの装置を接続する場合は、国際規定に準拠するためにシールド付きのケーブルをご使用ください。

注意：周辺機器

この装置には Class B 規定に準拠した周辺機器 (出入力装置、端末、プリンタなど) 以外は接続しないでください。規定に準拠しない周辺機器を使用すると、ラジオや TV 受信装置に障害を与えるおそれがあります。

警告

メーカーが許可しない解体や修正を行った場合は、FCC が規定するこのコンピュータを操作するユーザーの権利は失われます。

ご使用条件

Federal Communications Commission

各規格への準拠

このデバイスは FCC 規定の第 15 条に準拠しています。次の２つの条件にしたがって操作を行うことができます。(1) このデバイスが有害な障害を発生しないこと (2) 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

通知 : カナダのユーザー

この Class B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

ロシアの規制認証への準拠



目次

1 はじめに

Aspire easyStore シリーズをお買い上げいただき、ありがとうございます。

Aspire easyStore シリーズはホームデジタル用のデータストレージおよびデジタルメディアコンテンツサーバーです。Intel® Atom™ プロセッサ、最大 2 GB のメモリ、4 ドライブのホットスワップベイ *、ギガビットイーサネット、拡張記憶用の eSATA と 4 つの USB ポート、USB ストレージデバイスからデータをバックアップするための USB バックアップポート、システム障害から回復するためのまたはシステムを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするためのリカバリ / リセットボタンを採用しています。

Aspire easyStore シリーズはインポートしたすべてのデータを共有しながら、同時にデジタルメディアコンテンツを Apple iTunes や任意の UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）オーディオ / ビデオおよび PS3 や Xbox 360 などの DLNA（デジタルリビングネットワークアライアンス）準拠のデバイスを含め、複数のアプリケーションにストリーミングすることができます。この機能により、コンテンツライブラリを統合整理しながら、デジタルメディアへの即時アクセスを維持することができます。

* ドライブベイ 2、3 および 4 に取り付けられたハードディスクドライブのみがホットスワップ可能です。最初のドライブベイにあるシステムハードドライブは、ホットスワップができません。それぞれのドライブベイの場所に着いては、4 ページの「正面図」を参照してください。

特徴

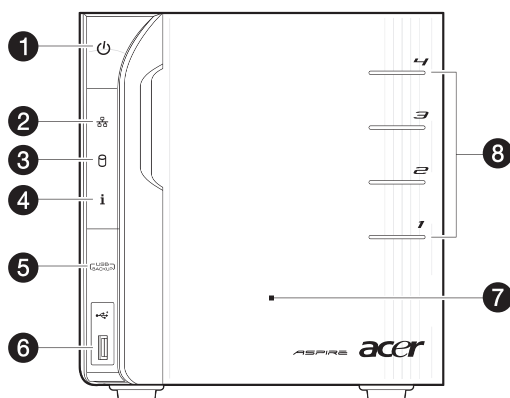
- 優れたファイル共有パフォーマンスを搭載した強力なプロセッサ。
- ホームの高速ネットワークパフォーマンスは、ギガビットイーサネット接続を通して実現します。
- Microsoft の Windows Home Server オペレーティングシステムを搭載しているため、デジタル資産を集中しそれに接続することが容易になります。
- ホームコンピュータを毎日バックアップします。詳細については 71 ページの「ホームコンピュータのバックアップの構成」を参照してください。
- 自宅ネットワークでもまたは自宅から離れている間でもほとんどすべてのインターネット接続されたコンピュータから、音楽や写真、ビデオに容易にアクセスできます。詳細については 81 ページの「ホームサーバーの共有フォルダにアクセスする」を参照してください。
- ワンタッチ USB バックアップ機能は、USB ストレージデバイスからデータを素早く容易にバックアップします。詳細については 91 ページの「話なっち USB バックアップ機能を使用する」を参照してください。
- ホームサーバーにストレージスペースを容易に追加します。詳細については 107 ページの「ハードディスクドライブを追加する」を参照してください。
- Windows Media Player と iTunes ストリーミングのサポート。詳細については 88 ページの「オーディオのストリーム」を参照してください。
- リモートでホームサーバーを呼び起こします。93 ページの「ホームサーバーでウェイクオン LAN をセットアップする」参照してください。

仕様

プロセッサ	Intel® Atom™ Processor
チップセット	Intel 945GC Express チップセットと ICH7R
ドライブストレージ	最大 4 つの 3.5 インチホットスワップ可能な SATA ハードディスクドライブ (HDD)
メモリ	最大 2 GB DDR2 unbuffered SDRAM
イーサネット	高性能 (10/100/1000) ギガビットイーサネットポート
I/O ポート	USB 2.0 ポート (1 つのフロントおよび 4 つのリア)、ギガビットイーサネットポート、eSATA ポート、リカバリ / リセットボタン
電源	200 W、100-240 V AC
サーバーのオペレーティングシステム (OS) サポート	Windows Home Server
ホームコンピュータの OS サポート	Windows Vista 32 ビットおよび 64 ビット Edition Windows XP 32 ビットおよび 64 ビット Edition
デジタルメディアプレーヤーのサポート	任意の DLNA 認定デバイス
デジタルメディアファイルのサポート	• 音楽：MP3、WMA、WAV、AAC、AC3、FLAC、APE、OGG、VOC、AIFF、AU、MID • ビデオ：WMV、ASF、MOV、AVI、MPEG、3GP、SWF、FLV、RMVB、RM、RA、RAM、MP4、MPG、MPE、M2V、TP、TS、MLV、MKV、DIVX • 写真：GIF、PNG、BMP、JPG、JEPG、ICO、TIFF、DXF、WMF、EMF、PICT、EPS、CDR
物理的寸法	幅 x 高さ x 奥行き：200 x 180 x 212 mm 重量（HDD 未搭載）: 4.5 kg (1 つの HDD 搭載時): 5.1 kg

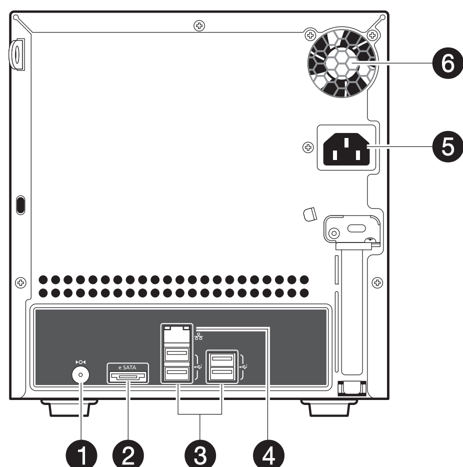
概要

正面図



番号	アイコン	番号コンポーネント
1		電源ボタン / 電源インジケータ
2		ネットワークインジケータ
3		ハードディスクドライブ (HDD) ステータスインジケータ
4	i	システムステータスインジケータ
5	USB BACKUP	USB バックアップボタン /USB バックアップインジケータ
6		USB 2.0 ポート
7		正面ドア ドアを開いてホットスワップ可能な HDD にアクセスします
8		HDD アクセスインジケータ

背面図

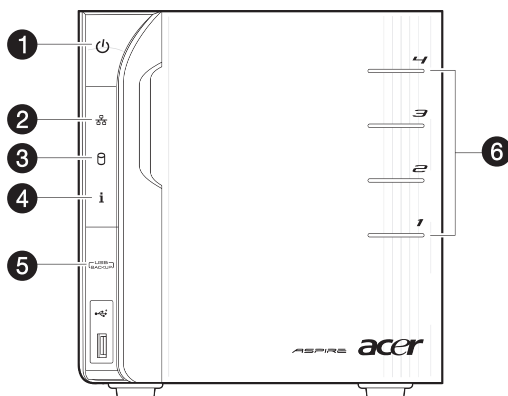


番号	アイコン	番号コンポーネント
1	▶O◀	リカバリ / リセットボタン
2	eSATA	eSATA ポート
3		USB ポート
4		ギガビットイーサネットポート
5		電源コネクタ
6		システムファン

システム LED インジケータ

正面パネル LED インジケータ

正面パネルに取り付けられた LED インジケータには、システム、ハードドライブ、ネットワーク接続のステータスに関する情報が表示されます。



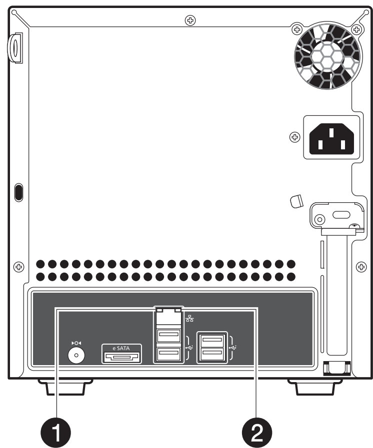
番号	インジケータ	色	状態	説明
1	電源ボタン	青	オン	システムを電源装置に接続すると、オンになり使用できるようになります。
			ランダム点滅	• システムが起動しています • システムは S3 スリープ状態に入っています（, メモリサスペンド）
			オフ	• システムの電源がオンになっていません • システムの初期運転が進行中です
2	ネットワーク	青	オン	システムとネットワーク間のリンク
			ランダム点滅	ネットワークアクセス
		赤	オフ	ネットワークが切断されています

番号	インジケータ	色	状態	説明
3	HDD ステータス (4)	紫	オン	• システムが初期化されていません • HDD がドライブベイに取り付けられていません
			ランダム点滅	• HDD がドライブベイに取り付けられ、サーバーストレージに手動で追加されているところです • HDD がサーバーストレージから削除されようとしています。 サーバストレージにドライブを追加したりストレージからドライブを取り外す方法の詳細については、107 ページの「5 ハードディスクドライブを構成する」を参照してください。
		青	オン	HDD はドライブベイに取り付けられ、サーバストレージに追加されます。 サーバストレージにドライブを追加する方法の詳細については、107 ページの「ハードディスクドライブを追加する」を参照してください。
		赤	ランダム点滅	• HDD 障害 • Windows Home Server が HDD を検出できません
		なし	オフ	HDD がドライブベイに取り付けられていません。

番号	インジケータ	色	状態	説明
4	システムステータス i	青	ランダム点滅	• システムが起動しています • システムが停止しています
			オン	システムの初期化操作が終了しました。
		青と紫	ランダム点滅	システムが USB デバイスから起動しています （起動ブロックがアクティブになっている間、BIOS 更新用に確保されています）
		赤	オン	次の状態を示しています : • システム障害 • HDD 障害 • SATA コントローラ障害 • USB コントローラ障害 • LAN コントローラ障害 • ファン障害 • メモリ障害 • 起動デバイスが見つかりません • ネットワークステータスが危険にさらされている場合。
			ランダム点滅	システム復旧またはリセットが進行中です
5	USB デバイスのバックアップ USB BACKUP	青	オン	• USB ストレージデバイスが USB ポートに接続されています • バックアップが完了しました
			ランダム点滅	システムは、USB ストレージデバイスからファイルをバックアップしています USB ストレージデバイスからファイルをバックアップする方法の詳細については、91 ページの「話なっち USB バックアップ機能を使用する」を参照してください。
			オフ	USB ストレージデバイスが取り外されています

番号	インジケータ	色	状態	説明
6	HDD アクセス	青	点滅	HDD が使用中です
			オフ	HDD が作動していません

ギガビットイーサネットポートの LED インジケータ



番号	インジケータ	色	状態	説明
1	速度インジケータ	なし	オフ	10 Mbps 接続
		緑	オン	100 Mbps 接続
		黄色	オン	1000 Mbps 接続
2	リンク / アクティビティインジケータ	緑	オン	ネットワークリンクが検出されました
			ランダム点滅	送受信アクティビティ
			オフ	ネットワークに接続されていません

2 システムをセットアップする

以下のステップに従って Aspire easyStore シリーズをセットアップし、ホームネットワークで実行してください。

- 梱包内容を確認する
- 場所の選択 はホームユーザー用です
- 推奨される環境
- 電源コードの接続
- ホームネットワークへの接続
- システムの電源をオンにする
- Windows Home Server Connector を最初のコンピュータにインストールする
- Windows Home Server Connector をクライアントコンピュータにインストールする
- Home Server Console への接続

梱包内容を確認する

梱包から次の付属品を確認します :

- Aspire easyStore シリーズシステム
- 電源コード
- ネットワークケーブル
- Aspire easyStore シリーズインストールディスク
    - ソフトウェアインストールディスク

      このディスクを使って次を実行します :

        - Windows Home Server Connector ソフトウェアをインストールします。詳細については、18 ページの「Windows Home Server Connector を最初のコンピュータにインストールする」を参照してください。
        - Lights Out Client をインストールします。93 ページの「ホームサーバーでウェイクオン LAN をセットアップする」を参照してください。
        - システムドライバ、BIOS、およびアドインソフトウェアを更新します。126 ページの「Aspire easyStore シリーズ Software Update でホームサーバーを更新する」を参照してください。
    - サーバーリカバリディスク - システム障害後 このディスクを使ってホームサーバーを回復します。または、ホームサーバーを工場出荷時のデフォルト設定に復元します。詳細については、118 ページの「ホームサーバーを復旧または復元する」を参照してください。
    - PC リカバリディスク - このディスクを使って、ホームサーバーに保存されたバックアップからホームコンピュータを復元します。詳細については、123 ページの「ホームコンピュータを復元する」を参照してください。
- クイックスタートガイド
- 保証書

上のどれかの付属品が足りないときや損傷している場合、この製本をお買い求めになった再販売業者または小売店にご連絡ください。

場所の選択

システムを開封または取り付ける前に、システムが最大の効率を発揮できるように適切な場所を選択してください。システムの場所を選択しているとき、次の要因を考慮してください。

- アースされたコンセントの傍
- 清潔で埃がないこと
- 振動のない安定した面
- 十分な換気の提供と熱源から離れていること
- エアコン、ラジオ、テレビなどの電気装置から生成される電磁場から隔離する。

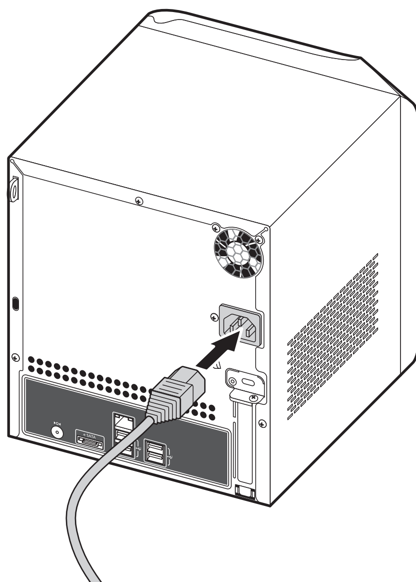
推奨される環境

最高の結果を出すには、コンピュータが次のハードウェアとソフトウェア要件を満たしている必要があります。

- プロセッサ
  - 1 GHz Pentium 3、Pentium 4、AMD x64 以降のプロセッサ
- システムメモリ
  - 512 MB 以上
- ハードドライブ
  - プライマリドライブとして 80 GB 内蔵 (ATA、SATA、または SCSI)
- オペレーティングシステム
  - Windows Vista Home Basic
  - Windows Vista Home N (欧州連合のみ)
  - Windows Vista Home Premium
  - Windows Vista Business
  - Windows Vista Business N (欧州連合のみ)
  - Windows Vista Enterprise
  - Windows Vista Ultimate
  - Windows XP Home with Service Pack 2 (SP2)
  - Windows XP Professional with SP2
  - Windows XP Media Center Edition 2005 with SP2 および Rollup 2
  - Windows XP Media Center Edition 2004/2005 with SP2
  - Windows XP Tablet Edition with SP2
- Web ブラウザ
  - Internet Explorer バージョン 6.0、7.0 以上
  - Mozilla Firefox 1.5 以上
- インターネット接続
  - 100 Mbps ～ 1000 Mbps のギガビットイーサネット接続
  - ブロードバンド接続（DSL またはケーブル）
- ブロードバンドルータ（DHCP 対応および UpnP 標準に適合します。）
- デジタルメディアプレーヤー（ストリーミングメディアファイル用）
  - iTunes 7.1 以降
  - Windows Media Player 10 以降

電源コードの接続

電源コードを電源コネクタに、コードのその他の端をコンセントに差し込みます。

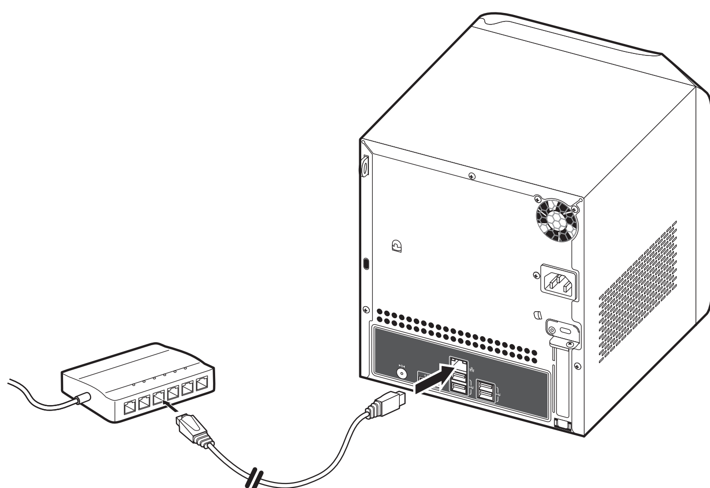


ホームネットワークへの接続



重要 : Aspire easyStore シリーズをネットワークケーブルでブロードバンドルータに接続します。ブロードバンドルータへのワイヤレス接続はサポートされていません。ただし、ワイヤレス接続を通して接続されたホームコンピュータはサポートされます。

ネットワークケーブルの一方の端をネットワークポートに、もう一方の端をブロードバンドルータのギガビットイーサネットポートに接続します。



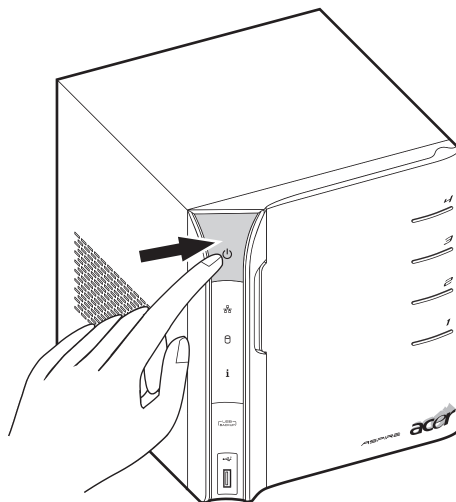
システムの電源をオンにする

システム、を適切にセットアップし必須ケーブルをすべて接続したことを確認すると、システムの電源をオンにすることができます。

電源ボタンを押してシステムをオンにします。起動後、正面パネルの LED インジケータが点滅し、色が変わり、青で点灯します。



注 : 初期起動の間、フロントパネルのシステムステータスインジケータ i は赤く点滅し、それから青で点灯します。これは、通常の起動シーケンスです。LED インジケータがすべて青で点灯するまで待ってから、次のセクションに進んでください。



システムの電源をオフにするには、電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。

Windows Home Server Connector を最初のコンピュータにインストールする

Aspire easyStore シリーズをセットアップした後、コンピュータに Windows Home Server Connector をインストールする必要があります。



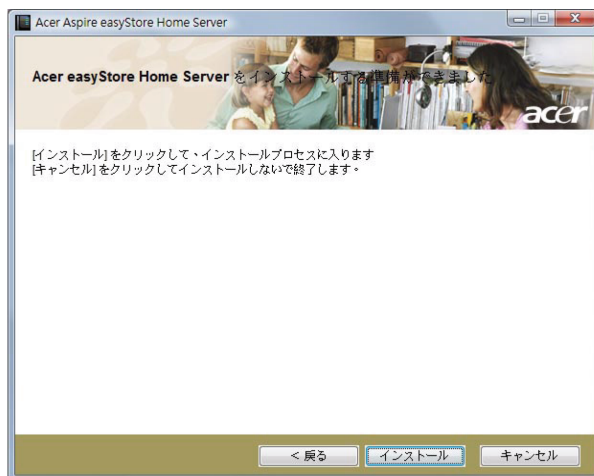
注：Windows Home Server Connector をインストールする前に、管理者権限があることを確認してください。ユーザーアカウント設定の変更に関する詳細は、Windows Help を参照してください。

1 Aspire easyStore シリーズソフトウェアインストールディスクを、最初のホームコンピュータの光学ドライブにセットします。インストールウィザードが起動します。

または、**Client Installation.exe** ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。ようこそ画面が表示されます。



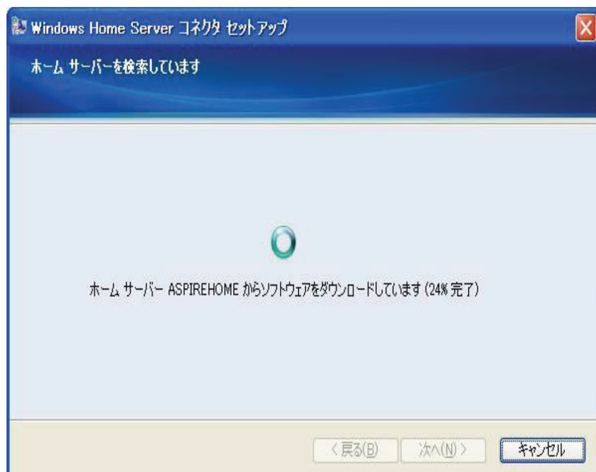
2　コンピュータで**ソフトウェアのインストール**をクリックし、**次へ**をクリックします。



3　**インストール**をクリックして、インストールプロセスを開始します。Microsoft .Net Framework 2.0 および Windows Installer 3.1 コンポーネントがインストールされました。



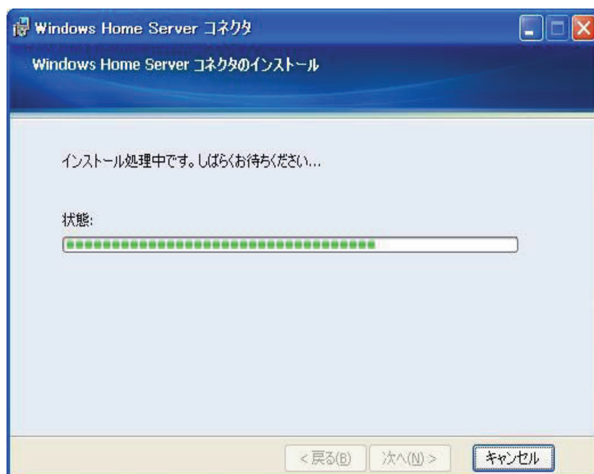
コンポーネントがインストールされると、Windows Home Server Connector のインストールが開始され、Aspire easyStore シリーズを検出し接続します。



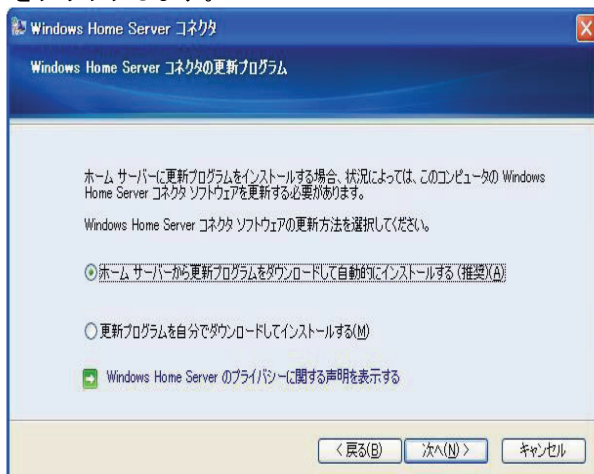
サーバーが検出されると、ようこそウィンドウが表示されます。



4 **次へ** をクリックします。



5 **次へ** をクリックします。

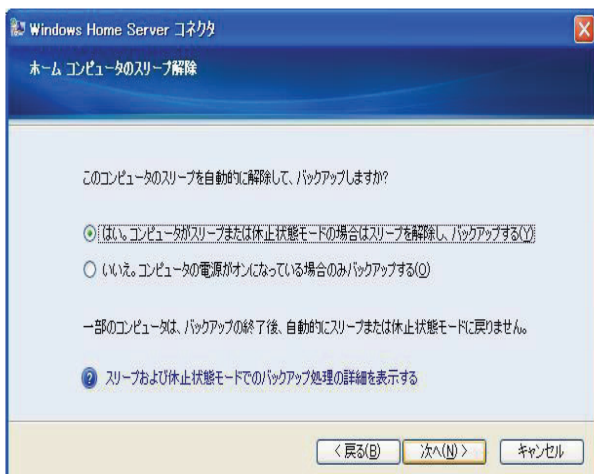


6 コネクタの更新版をダウンロードする場合、「ホームサーバーから更新版をダウンロードし、自動的にインストールする」オプションボタンを選択します。



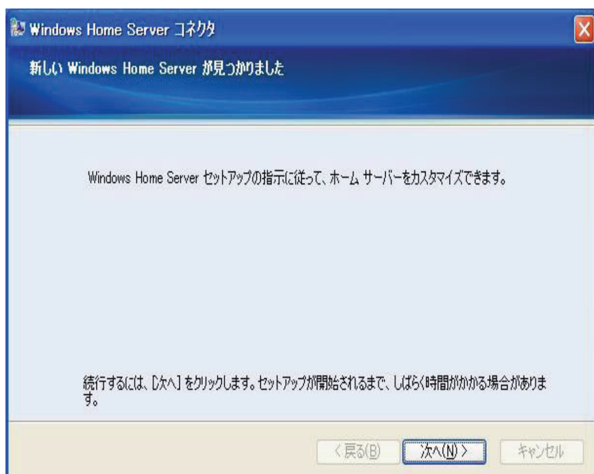
注：初めて Windows Update を自動実行するには、約 1 時間かかります。**自分で更新をダウンロードしてインストールする**を選択すると、プロセスをスピードアップすることができます。

7 **次へ** をクリックします。



8 Windows Home Server がスリープ状態のコンピュータを呼び起こしてバックアップさせるには、「はい、このコンピュータがスリープまたはハイバーネートモードに入っている場合、呼び起こしてバックアップします」オプションボタンを選択します。

9 **次へ** をクリックします。



10 **次へ**をクリックして、ホームサーバーの初期構成を実行します。



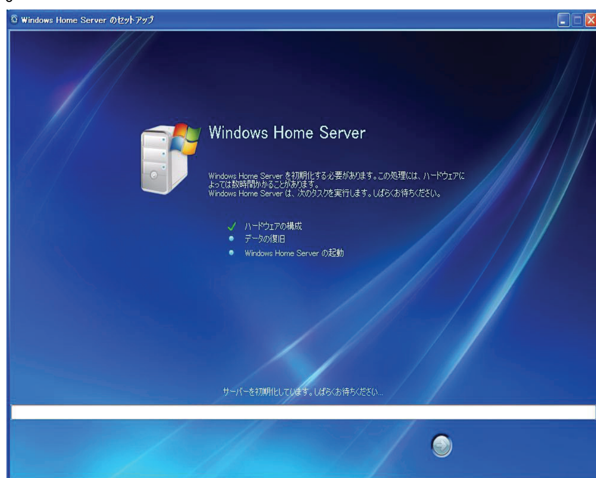
注：ホームサーバーの初期構成は、最初のホームコンピュータで一度だけ実行されます。



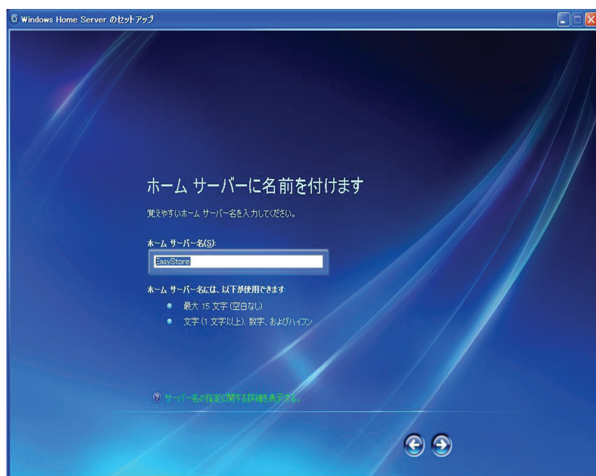


注：デフォルトの 1024 x 600 の解像度では、初めての構成を実行することができません。初めて構成を行う前に、より高い解像度に切り替える必要があります。

11　**次へ**矢印をクリックします。Windows Home Server の初期化が開始され、ハードウェアにもよりますが完了まで数時間かかることがあります。



12　初期化が完了したら、**次へ**矢印をクリックします。



13　ホームサーバーの名前を入力します。

ホームサーバーの名前は、スペースを入れずに 15 文字以内（文字、数字またはハイフンを含む）で指定する必要があります。

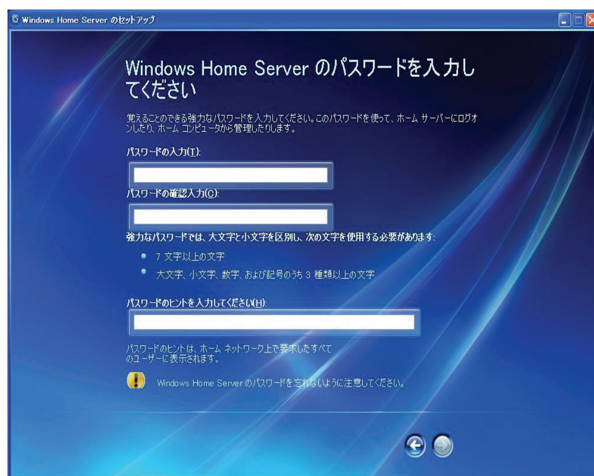
14　**次へ**矢印をクリックします。

15 強力な Windows Home Server 管理者パスワード、確認パスワード、およびパスワードのヒントを入力します。これは、Windows Home Server Console からホームサーバーの管理に使用できるパスワードです。

強力なパスワードは 7 文字以上で、次の 4 つのカテゴリのうち少なくとも 3 つを含める必要があります。

- 大文字
- 小文字
- 数字
- 記号（!、@、# など）

強力なパスワードの例には、Acer123 などがあります。



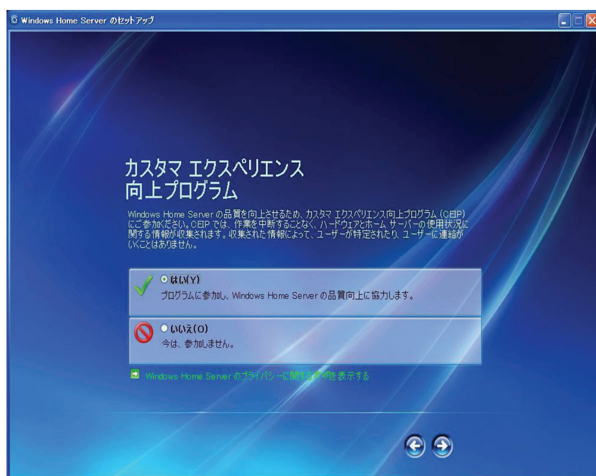


注意：
1. サーバーの管理者パスワードは安全な場所に保管してください。間違ったパスワードを入力すると、サーバーにログインすることはできません。パスワードを忘れた場合、サーバーをリストアする必要があります。その場合、システム設定、ユーザーアカウント、データはすべて失われます。
2. サーバーのリストアには、サーバーとクライアント PC 間に有線接続が必要となります。2 つの装置を接続し、サーバーリカバリディスクを PC の光学ドライブに挿入して、プロセスを開始します。(図の挿入)

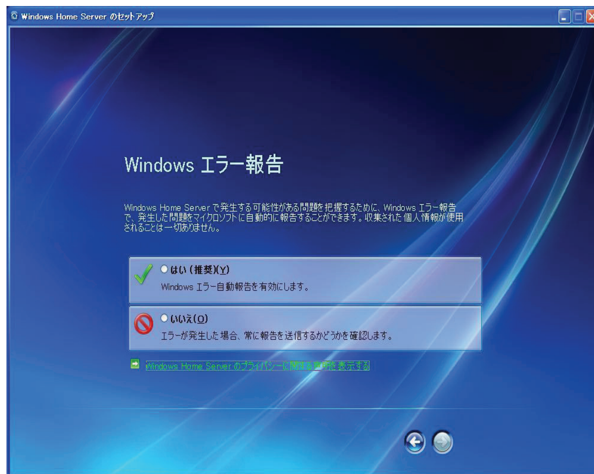
16 **次へ**矢印をクリックします。



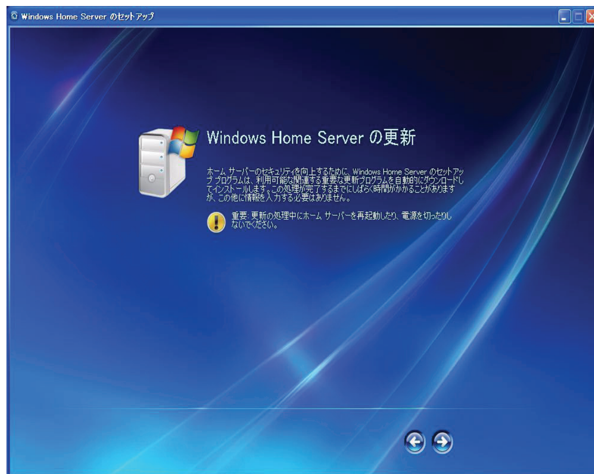
17 Windows Update を使用する場合、「ユーザー推奨の設定」オプションボタンを選択して Windows Update 用の更新を自動的にダウンロードしてインストールし、**次へ**矢印をクリックします。



18 Customer Experience Improvement プログラムに参加を希望するかどうかを選択し、**次へ**矢印をクリックします。



19 Windows Error Reporting プログラムに参加を希望するかどうかを選択し、**次へ**矢印をクリックします。

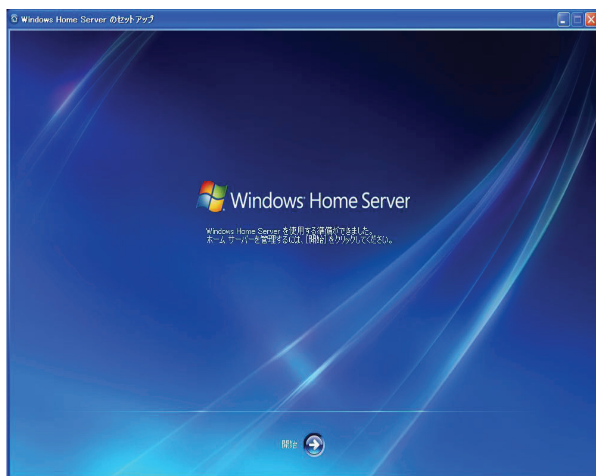


20 **次へ**矢印をクリックして、使用可能な Windows Home Server 更新を自動的にダウンロードしてインストールします。この操作には完了まで少し時間がかかりますが、追加情報を求められることはありません。

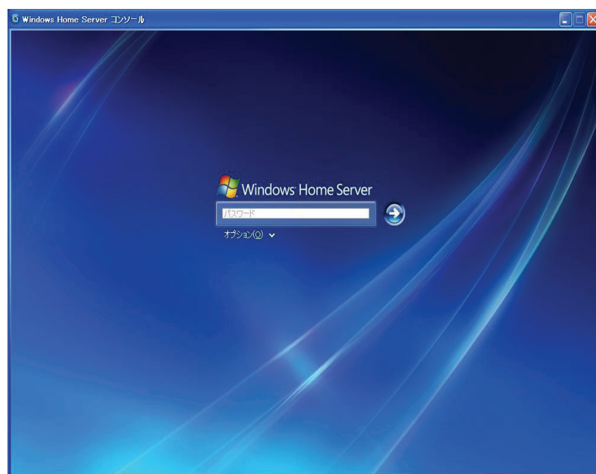


重要 : 更新プロセスの間、ホームサーバーを再起動したり、オフにしたりしないでください。

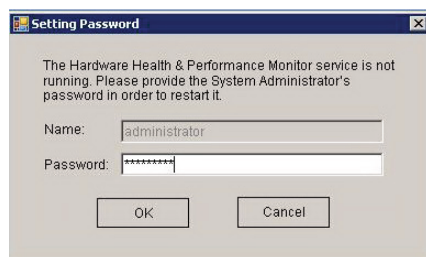
21 インストールが完了すると、Windows Home Server ウィンドウが表示されます。



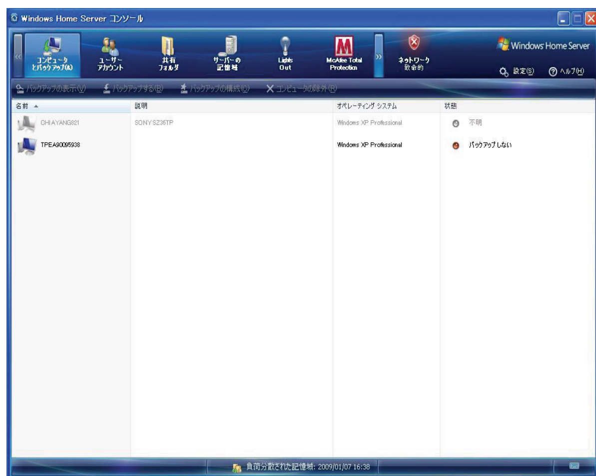
22 **次へ**矢印をクリックします。Windows Home Server ログインウィンドウが表示されます。これで、リモート管理コンソールを通して、ホームサーバーを管理できるようになりました。



23 管理者パスワードを入力し、[**次へ**] 矢印をクリックします。[パスワードの設定] ダイアログボックスが表示されます。



24 管理者パスワードを入力してハードウェア状態とパフォーマンス監視サービスを開始するには、**OK** をクリックします。Windows Home Server Console インターフェイスが表示されます。



システムのタスクトレイには Windows Home Server アイコン も表示され、共有フォルダデスクトップショートカット がデスクトップに表示されます。

Windows Home Server アイコンが、ホームサーバーおよびホームネットワークに接続されたすべてのコンピュータの現在の状況を表示します。アイコンを右クリックすると、Windows Home Server にアクセスできます。システムのトレイアイコンに関する詳細については、105 ページの「Windows Home Server の探索アイコン」を参照してください。

共有フォルダを使用して、ホームサーバーのファイルを保管し整理することもできます。

Windows Home Server Connector をクライアントコンピュータにインストールする

最初のコンピュータに Windows Home Server Connector をインストールした後、Aspire easyStore シリーズソフトウェアインストールディスクを使用してホームサーバーに接続するコンピュータに Windows Home Server Connector をインストールします。

ディスクを紛失した場合、ホームサーバーを介して Windows Home Server Connector をインストールできます。詳細については、ページ 33 を参照してください。

Aspire easyStore シリーズソフトウェアインストールディスクから Windows Home Server Connector をインストールする

1 Aspire easyStore シリーズソフトウェアインストールディスクを、クライアントホームコンピュータの光学ドライブにセットします。インストールウィザードが起動します。

   または、**Client Installation.exe** ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。ようこそ画面が表示されます。



2 **次へ** をクリックします。

3 **インストール**をクリックして、インストールプロセスを開始します。Microsoft .Net Framework 2.0、Windows Installer 3.1、および Aspire easyStore シリーズコンポーネントがインストールされました。

4 コンポーネントがインストールされると、Windows Home Server Connector のインストールが開始され、ホームサーバーを検出し接続します。

ホームサーバーが検出されると、ようこそウィンドウが表示されます。

5 **次へ** をクリックします。

6 エンドユーザーライセンス合意書をお読みください。合意条件に同意されたら、「ライセンス合意書の条件を受け入れる」オプションボタンを選択します。

7 **次へ** をクリックします。インストールステータスウィンドウが表示されます。

8 **次へ** をクリックします。

9 Windows Home Server 管理者パスワードを入力します。



10 **次へ**をクリックし、インストールが終了するまでオンスクリーンの指示に従います。

11 インストールが完了すると、システムのタスクトレイには Windows Home Server アイコン が表示され、共有フォルダデスクトップショートカット がデスクトップに表示されます。

ホームサーバーから直接 Windows Home Server Connector をインストールするには

1 Web browser を開きます。

2 アドレスバーに、http://Aspirehome:55000/ と入力します。ここで、「Aspirehome」はホームサーバーの名前です。

3 Windows Home Server Connector のセットアップの下で、**今ダウンロードする**をクリックします。

4 [ファイルの DAU アンロード] ダイアログボックスで、**ファイル名を指定して実行**をクリックします。

5 インストールが終了するまで、オンスクリーンのインストール指示に従います。

Home Server Console への接続

リモートでホームサーバーを管理するには、Windows Home Server Console にログオンする必要があります。

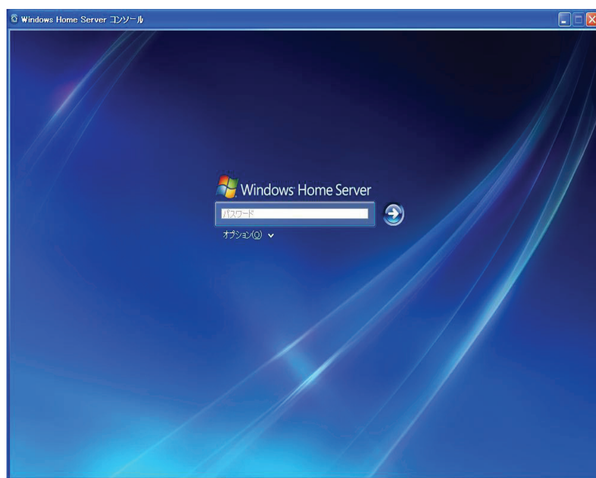


注：ホームサーバーに対して管理者パスワードを持っていることを確認します。

Windows Home Server Console の起動方法には、Windows のスタートメニュー、Windows Home Server アイコンのダブルクリック、または Windows Home Server アイコンの右クリックの 3 通りがあります。

Windows のスタートメニューを使用してホームサーバーにログオンするには：

1 コンピュータで、**スタート** > **プログラム** > **Windows Home Server Console** の順にクリックします。



2 管理者パスワードを入力し、**[次へ]** 矢印をクリックします。

Windows Home Server アイコンを使用してホームサーバーにログオンするには：

1 システムトレイで **Windows Home Server** アイコン を右クリックし、ポップアップメニューから **Windows Home Server Console** を選択します。

または

システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2 管理者パスワードを入力し、**[次へ]** 矢印をクリックします。

3 Windows Home Server Console

Windows Home Server Console はホームサーバーをリモートで管理するツールで、ホームネットワークのコンピュータを監視しバックアップします。これにより、ホームネットワークのどこからでもホームサーバーをリモートで管理できます。ログインすると、ホームサーバーとネットワークに接続されたコンピュータの状態を監視し、コンピュータに接続されたバックアップスケジュールを作成し、コンピュータをバックアップし、ユーザーアカウントとサーバーの共有フォルダを管理することができます。

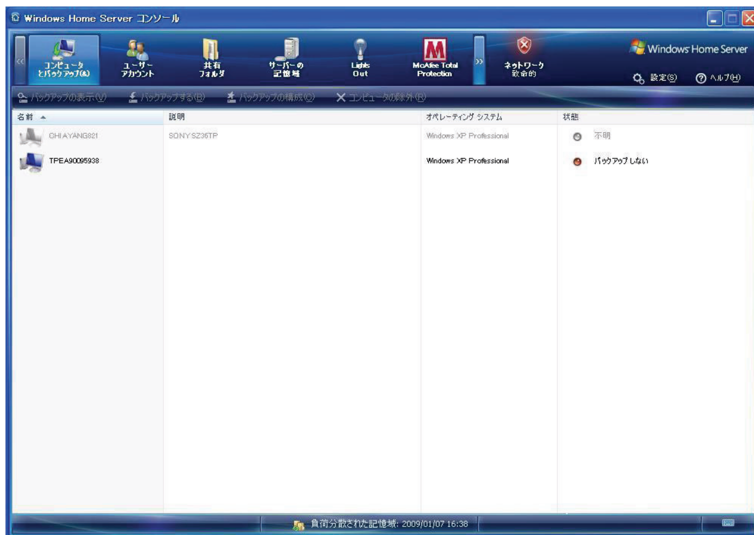
Windows Home Server Console は、次のタブにアクセスします。

- コンピュータとバックアップ
- ユーザーアカウント
- 共有フォルダ
- サーバーストレージ
- Lights Out
- McAfee Total Protection
- システム情報
- ネットワーク状態
- 設定

Windows Home Server の構成に関する詳細については、コンソールの [ヘルプ] をクリックして Windows Home Server Console のヘルプを開きます。

コンピュータとバックアップ

Windows Home Server Console の「コンピュータとバックアップ」を使用してホームサーバーに接続されたホームコンピュータを表示し、ホームコンピュータと管理バックアップの状態を監視できます。ホームコンピュータのそれぞれに Windows Home Server Connector をインストールすると、Windows Home Server Connector はホームサーバーに毎晩自動的にバックアップされます。



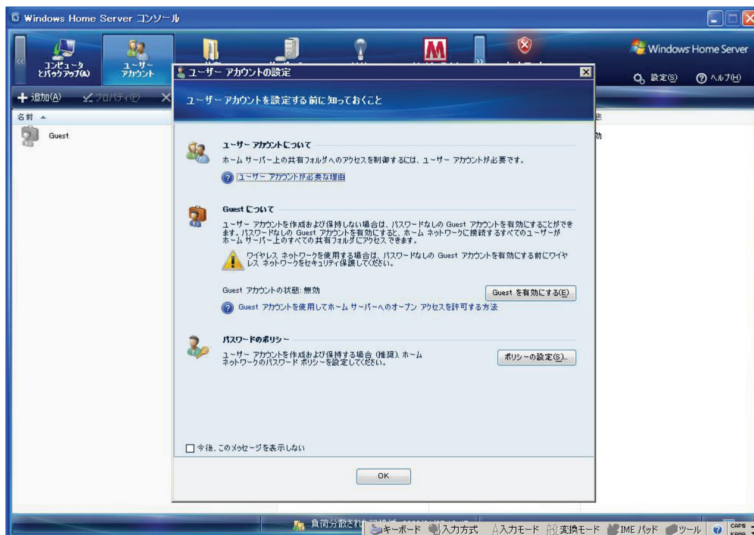
「コンピュータとバックアップ」タブのオプションで、以下を実行できます。

- バックアップの表示 - ホームコンピュータの既存のバックアップを閲覧します。
- 今バックアップする - ホームコンピュータの手動バックアップを開始します
- バックアップの構成 - ホームコンピュータのバックアップ設定を変更します
- コンピュータの削除 - ホームサーバーからコンピュータとバックアップを削除します

詳細については、Windows Home Server Console Help の「コンピュータとバックアップ」を参照してください。

ユーザーアカウント

Windows Home Server Console の「ユーザーアカウント」タブを使用して個人用ユーザーアカウントを作成し、ゲストアカウントを有効にし、ホームサーバーにユーザーアカウントを維持することができます。



「ユーザーアカウント」タブのオプションで、以下を実行できます。

- 追加 - ホームサーバーに新規ユーザーアカウントを作成し、ユーザーのアクセス権を設定します
- プロパティ - ユーザーアカウントのプロパティを表示し変更します
- 削除 - ホームサーバーからユーザーアカウントを削除します

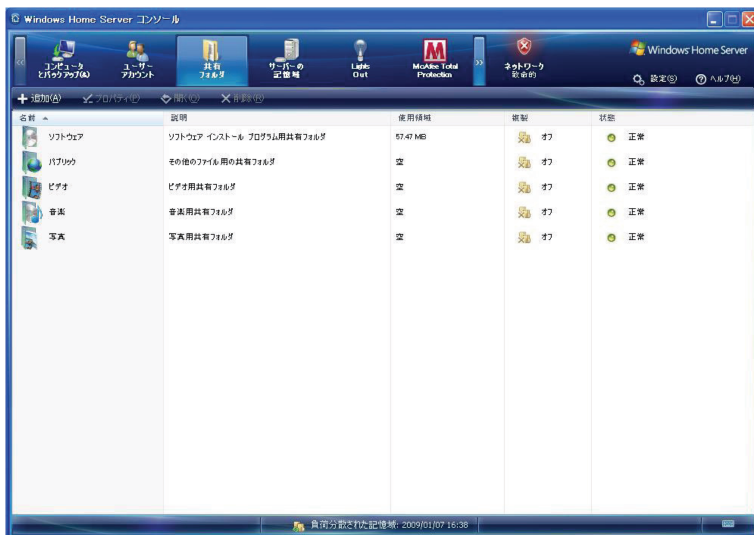
詳細については、Windows Home Server Console Help の「ユーザーアカウント」を参照してください。



注：
1. ユーザーアカウントを作成するまで、共有メディアフォルダ (Video/ Photo/Music) に完全にアクセスすることはできません。ユーザーアカウントを作成していないと、ファイルを読むことはできますがホームサーバーにファイルを保存することはできません。
2. 新しいユーザーアカウントを追加するたびに、個人用共有フォルダが作成されます。デフォルトで、このユーザーアカウントのみが個人用共有フォルダにアクセスできます。ユーザーは、これらの個人用共有フォルダに個人用ファイルを格納できます。ゲストアカウントが有効になっている場合でも、他のユーザーアカウントはアクセスできません。

共有フォルダ

Windows Home Server Console の「共有フォルダ」タブを使用して、ホームサーバーで共有フォルダを追加または開いたり、削除、表示することができます。共有フォルダでは、ホームネットワークの他の人と共有できるように、ホームサーバーにファイルを集中して格納することができます。



次の共有フォルダが、ホームサーバーに自動的に作成されます。

- 音楽
- 写真
- パブリック
- ソフトウェア
- ビデオ
- 追加される各個人ユーザーアカウントの個人用共有フォルダ。デフォルトで、他のユーザーアカウントではこの個人用共有フォルダにアクセスできません

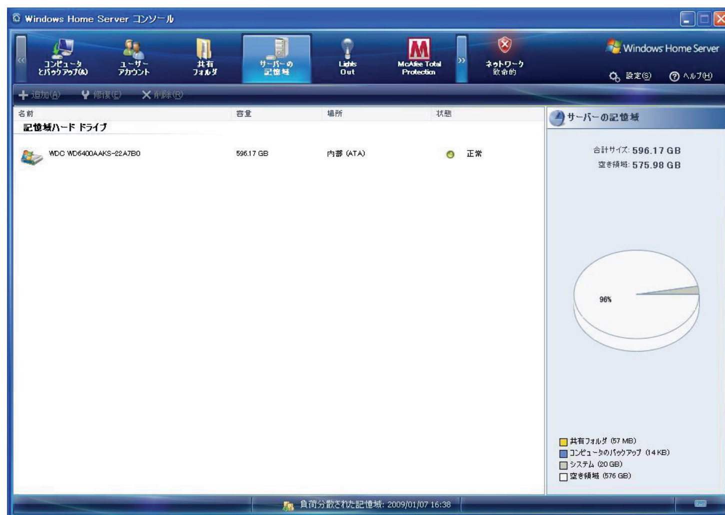
「共有フォルダ」タブのオプションで、以下を実行できます。

- 追加を許可 - ホームサーバーで新規共有フォルダを作成します
- 表示 / 変更を許可 - 共有フォルダのプロパティを表示し変更します
- 開くを許可 - 共有フォルダのファイルとフォルダを閲覧します
- 削除を許可 - ホームサーバーから既存のフォルダを削除します

詳細については、Windows Home Server Console Help の「共有フォルダ」を参照してください。

サーバーストレージ

Windows Home Server Console の「サーバーストレージ」タブには、ホームサーバーに取り付けられたすべてのハードドライブが表示されます。「サーバーストレージ」を使用してホームサーバーからハードドライブを表示、追加、修理、削除することができます。



「サーバーストレージ」タブのオプションで、以下を実行できます。

- 追加 - さまざまなサイズのハードドライブをホームサーバーに追加して、次の利用法向けにハードドライブを設定できます。
  - サーバーストレージ - このオプションでは、ホームコンピュータのバックアップを保存するためのスペースと、共有フォルダ用のスペースを確保します。
  - サーバーバックアップ - このオプションでは、ホームサーバーの共有フォルダをすべてバックアップします。ホームサーバーバックアップで外付けのハードドライブを使用する場合、別個の場所にハードドライブを保存できます。このオプションを選択すると、ホームサーバーは「コンピュータとバックアップ」タブに表示されます。「今バックアップする」を使用して、共有フォルダをハードドライブにバックアップできます。
- 修理 - 障害のあるハードドライブのエラーを修復します
- 削除 - ホームサーバーからハードドライブを削除します

詳細については、Windows Home Server Console Help の「サーバーストレージ」を参照してください。

Lights Out

Lights Out は強力な管理アドインソフトウェアで、ホームサーバーをサスペンドモードに設定したり、カレンダーイベントの機能を活用して選択した時間にシステムを呼び起こしたりします。



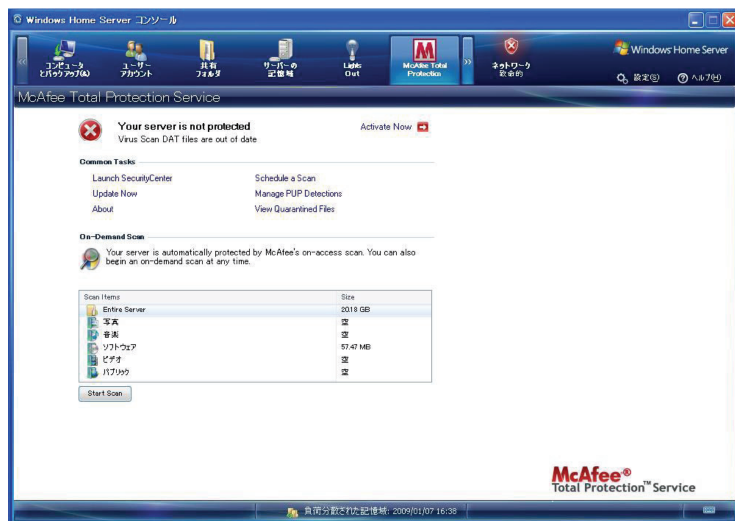
「Lights Out」タブには、次のオプションがあります。

- リフレッシュ - アップタイムダイアグラムの最新バージョンに更新します
- 更新ダイアグラム - バックアップが行われホームコンピュータが有効になったとき、またはホームサーバーがスリープモードから呼び起こされたときなど、ホームサーバーに記録されたアップタイムを示すチャートを表示します
- カレンダー - カレンダーウィンドウを表示し、カレンダーエントリを追加、編集、削除します
- 設定 - [Windows Home Server 設定] ダイアログボックスを表示します。「Lights Out」設定の構成方法の詳細については、page 57 を参照してください。
- バージョン情報 - バージョン番号と著作権情報を表示します

詳細については、Lights Out ウィンドウの [ヘルプ] をクリックしてください。

McAfee Total Protection

McAfee Total Protection は、Windows Home Server 用のアドインソフトウェアです。包括的なセキュリティ管理ソリューションで、ウイルス、スパイウェア、好ましくないプログラム、その他ホームサーバー上の潜在的な脅威をチェックします。





注 : スキャンをスケジュールする前、またはホームサーバーのウイルスパターンを更新する前に、McAfee Total Protection Service を有効にする必要があります

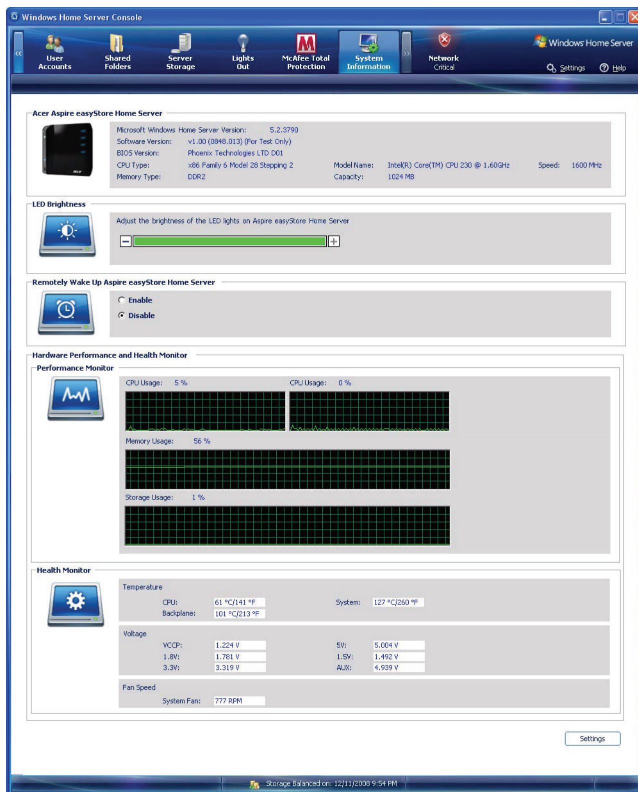
McAfee Total Protection タブで次のタスクを実行できます。

- SecurityCenter の起動
- 今更新する
- バージョン情報
- スキャンのスケジュール
- PUP 検出の管理
- 隔離したファイルの表示

詳細については、McAfee Total Protection ウィンドウの [ヘルプ] をクリックしてください。

システム情報

Windows Home Server Console の [システム情報] タブでは、ホームサーバーの状態とパフォーマンス詳細を見守る総合的監視メカニズムを使用できます。



システム情報は、以下の機能をサポートします。

- Acer Aspire easyStore Home Server - ホームサーバーに現在取り付けられているプロセッサやメモリの仕様などのホームサーバーに関する基本情報、BIOS バージョン、およびオペレーティングシステムのバージョンが表示されます
- LED の明るさ - ホームサーバーの LED インジケータの明るさを調整します

- リモートで Aspire easyStore Home Server をリモートで呼び起こす - リモート呼び起こし機能の有効 / 無効を切り替えます
- ハードウェアのパフォーマンスと状態監視 - ホームサーバーのパフォーマンスデータを表示し、温度、電圧および速度を監視します

ホームサーバーの LED の明るさを調整するには :

LED の明るさフィールドで、スライダを目的の場所まで水平にドラッグします。



注 : ホームサーバーを再起動したら、LED の輝度はデフォルト設定に戻ります。

リモートの呼び起こし機能の有効 / 無効を切り替えるには :

1 「リモートで Aspire easyStore Home Server をリモートで呼び起こす」フィールドで、[有効] チェックボックスをクリックしてスリープモードからホームサーバーを呼び起こします。これにより、ファイルをアップロードするユーザーは、スリープモードからシステムを呼び起こします。
2 「無効」チェックボックスをクリックして、この機能を無効にします。

詳細については、Windows Home Server Console Help の「ネットワーク状態」を参照してください。

ネットワーク状態

[ネットワーク状態] タブには、ホームサーバーとホームコンピュータからの状態通知が表示されます。都合のいい場所からネットワーク全体の状態が表示されるため、問題が発生した場合修正に必要な行動を取ることができます。





注 : 状態通知は、Windows Home Server Connector ソフトウェアをインストールしたホームコンピュータの Windows Home Server アイコンにも表示されます。

表示できる状態は、以下の通りです。

色	状態
	正常なネットワークを示します

色	状態
	直ちに注意する必要のある危険な問題を示します
	一刻の猶予もなく注意する必要のある重大な問題を示します

詳細については、Windows Home Server アイコンを右クリックし、[ヘルプ] をクリックします。

設定

Windows Home Server Console ウィンドウの右上にある [設定] ボタンにより、ホームサーバーの設定を構成できます。[設定] ウィンドウには、さまざまな管理オプションが表示されます。



[設定] ウィンドウで、次のカテゴリの設定を構成できます。

- 全般
- バックアップ
- パスワード
- メディア共有
- リモートアクセス
- アドイン
- ハードウェアの状態とパフォーマンス監視
- IP 構成
- Lights Out
- McAfee Total Protection Service

- DMS の設定
- iTunes Server の設定
- リソース

全般

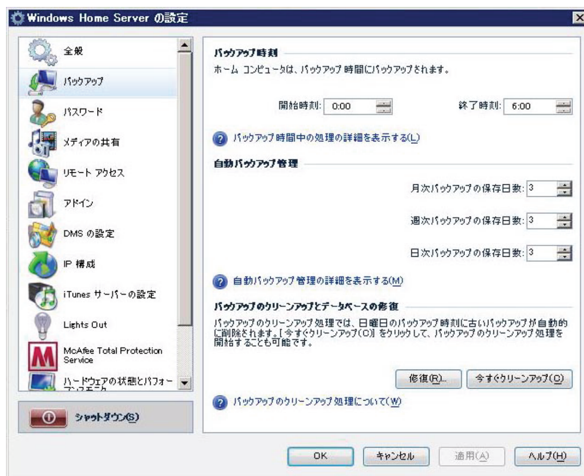
[全般] 設定ページにより、時付けと時刻、言語選択、Windows Update 設定、Customer Experience Improvement プログラムを変更し、Windows エラーレポートの有効 / 無効を切り替えることができます。



[全般] 設定ページで実行できるタスクの情報については、[全般] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

バックアップ

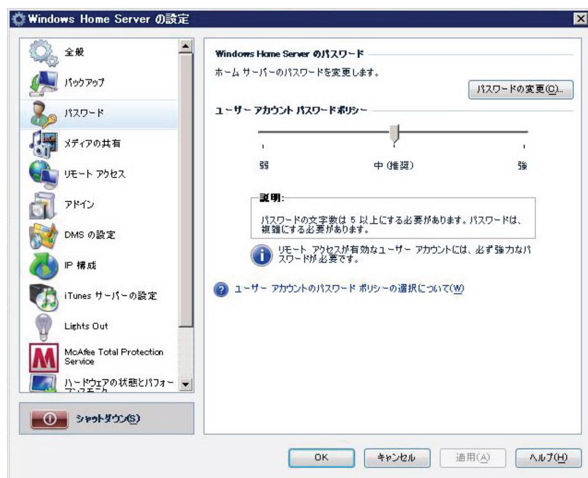
[バックアップ] 設定ページでは、ホームネットワーク上のコンピュータのバックアップの開始および終了時間を構成し、ホームサーバー上にバックアップを保存する日数を指定し、古いバックアップを手動で消去したりします。



[バックアップ] 設定ページで実行できるタスクの情報については、[バックアップ] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

パスワード

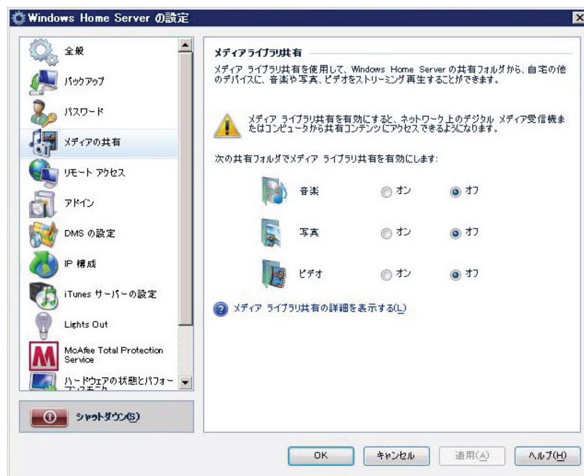
[パスワード] 設定ページを使用してホームサーバーのパスワードを変更し、ユーザーアカウントのパスワードポリシーを変更します。



詳細については、[パスワード] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

メディア共有

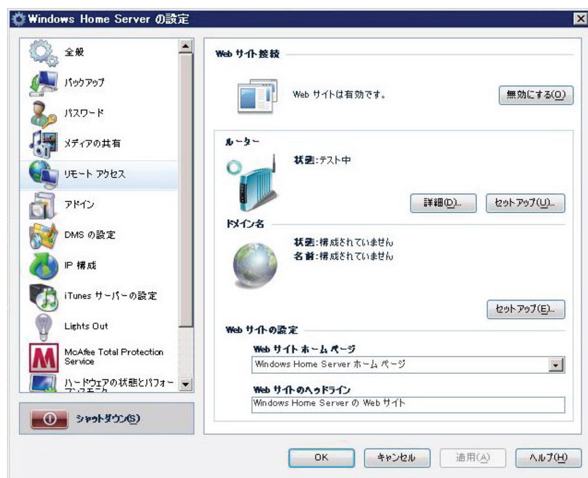
[メディア供給] 設定ページでは、Windows Home Server メディア共有機能の有効 / 無効を切り替えます。



詳細については、[メディア共有] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

リモートアクセス

[リモートアクセス] 設定ページでは、インターネットから Aspire easyStore シリーズホームページにアクセスするために必要なすべての構成を行うことができます。リモートでアクセスし実行するには、Web Site Connectivity をオンにし、ルータを構成し、ホームサーバーのドメイン名を構成し、Aspire easyStore シリーズホームページを設定する必要があります。



詳細については、[リモートアクセス] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

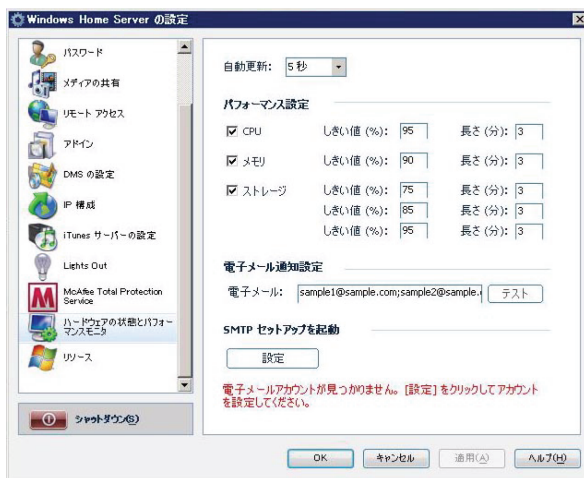
アドイン

[アドイン] 設定ページでは、ホームサーバーでインストールした、またはインストールする予定のアドインソフトウェアを構成します。

アドインのインストール法の詳細については、[アドイン] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

ハードウェアの状態とパフォーマンス監視

[ハードウェアの状態とパフォーマンス監視] 設定ページを使用して監視するデータの更新間隔を設定し、パフォーマンスしきい値設定を構成し、温度、電圧およびファン速度の異常が検出されたとき、または事前構成されたしきい値を超えたときに警報を送信する電子メールの宛先を指定します。



[ハードウェアの状態とパフォーマンス監視] 設定ページで、次の設定を構成できます。

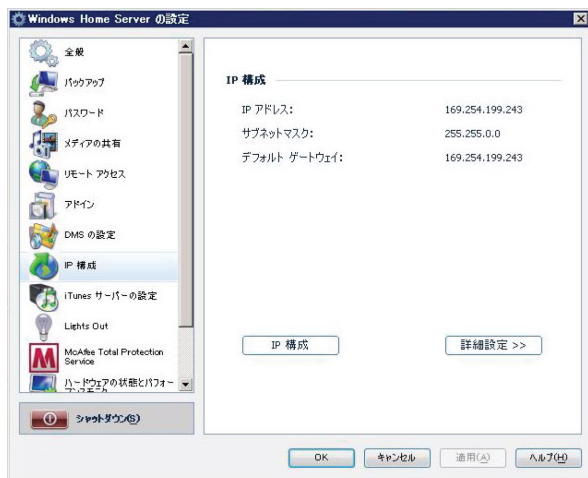
- 自動リフレッシュ - データの監視をどのくらいの頻度で実行すべきか、Windows Home Server に通知するリフレッシュ間隔を設定します。
- パフォーマンス設定 - CPU、モニタおよびストレージのパフォーマンスしきい値を設定します。
- 電子メール警報設定 - 警報を送信する電子メールアドレスを指定します
- SMTP セットアップの起動 - 単純なメール転送セットアップを構成します

電子メールの警報機能を有効にするには、電子メールの宛先と SMTP セットアップを適切に構成する必要があります。詳細については、100 ページの「電子メール警報のセットアップ」を参照してください。

詳細については、[ハードウェアの状態とパフォーマンス監視] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

IP 構成

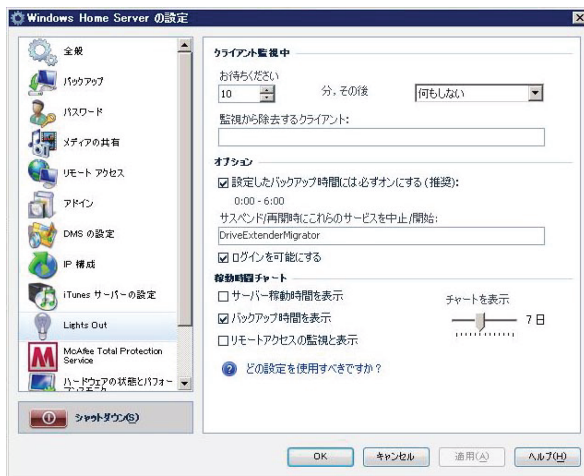
[IP 構成] 設定ページでは、ホームサーバーの現在の IP 構成設定を表示したり、IP 構成を手動で変更します。



詳細については、[IP 構成] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

Lights Out

[Lights Out] ページを使用して、ホームサーバーをサスペンドまたはレジュームモードにする必要がある時間を定義します。



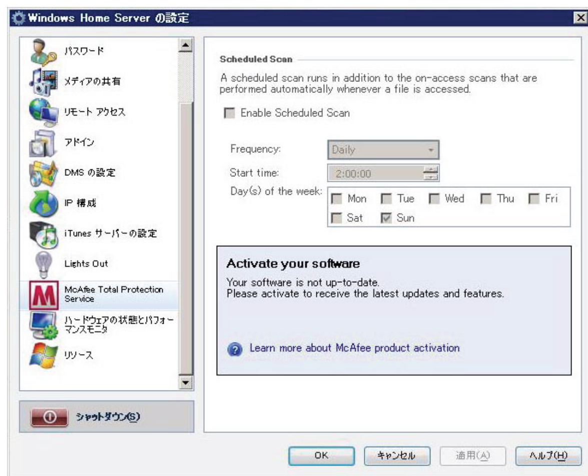
[Lights Out] ページで、次の設定を構成できます。

- クライアントコンピュータ監視 - クライアントコンピュータ監視はアクティブなクライアントを定期的にチェックするために使用されます。アクティブなクライアントが検出されないとき、待機時間の後選択したアクションが実行されます。クライアントコンピュータを無効にしたり、サーバーをサスペンドまたはハイバーネートモードにしたり、サーバーを停止することができます。
- オプション - 構成したバックアップ時間にホームサーバーを呼び起こすように、Lights Out を設定できます。規則的なバックアップを実行するとき、このオプションを有効にする必要があります。
- アップタイムダイアグラム - 記録されたアップタイムがアップタイムチャートにビジュアル表示されます。2 ～ 14 日の間で履歴範囲を選択できます。サーバーが常にアップになっているとき、チャートからサーバーを除外できます。同様に、バックアップバックアップ時間の表示を構成することができます。
  リモートアクセスの監視が有効になっているとき、リモートユーザーがログインしている限り、デフォルトのアクションは無効になります。ホームサーバーからのデフォルトのタイムアウトは、20 分に設定されます。タイムアウト後、Lights Out はさらに 3 分待ちます。

詳細については、[Lights Out] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

McAfee Total Protection Service

[McAfee Total Protection Service] ページを使用して、ホームサーバーのセキュリティを管理します。

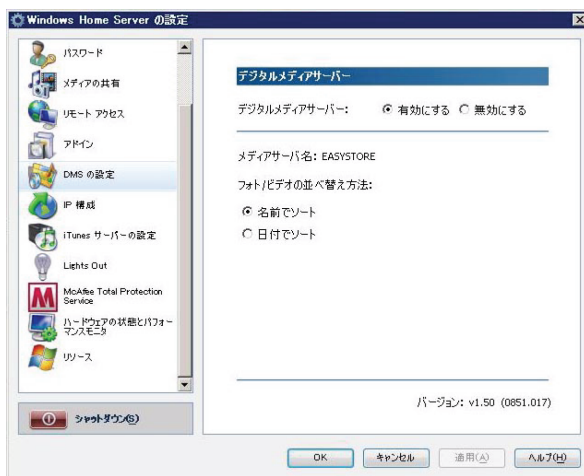


詳細については、[McAfee Total Protection Service] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

DMS の設定

[DMS（デジタルメディアサーバー）の設定] ページでは、デジタルメディアサーバー機能の有効 / 無効を切り替え、写真やビデオの並べ替え方法をカスタマイズします。

DMS を有効にすると、UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）プロトコルを使用するデジタルメディアコントローラとデジタルメディアサーバーはホームサーバーのメディアファイルを自動的に検出、アクセス、再生します。また、iPod、iTunes、PS3、または Xbox 360 ユーザーが Windows Home Server のメディアファイルを共有することもできます。



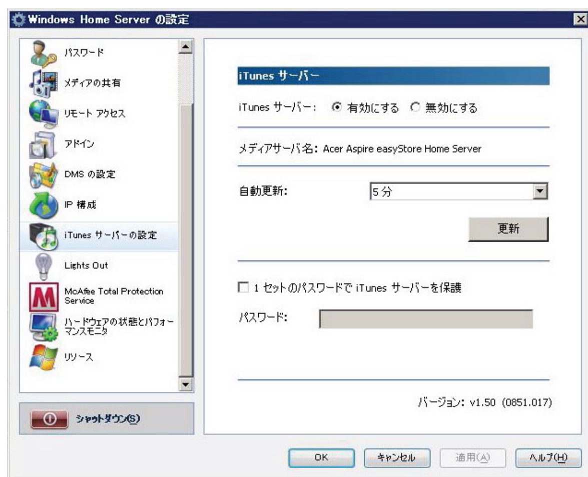
[DMS の設定] ページで、次の設定を構成できます。

- デジタルメディアサーバー - デジタルメディアサーバーの有効 / 無効を切り替えます
- 並べ替え方法 - 写真またはビデオ共有フォルダの下で、デジタルファイルを整理するための並べ替え方法を選択します。

詳細については、[DMS の設定] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

iTunes Server の設定

[iTunes Server の設定] ページでは、iTunes Server 機能の有効 / 無効を切り替え、音楽ライブラリの更新頻度を指定し、iTunes Server アクセスを安全にするためのパスワードを設定します。



詳細については、[iTunes Server の設定] ページの右下にある [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

リソース

[リソース] ページを使用して、ホームサーバーに関する次の情報を表示できます。

- Microsoft Windows - Windows Home Server を有効にし、Microsoft Software ライセンス条件を表示します
- ホームサーバー - ホームサーバーのハードウェアに関する情報を表示します。
- バージョン情報 - お使いのホームサーバーで作動している Windows Home Server サービスのバージョンを表示します
- 詳細説明 - 追加の Windows Home Server リンクを表示します
- サポート - 製品サポートリンクを表示します



シャットダウン

左ペインの [シャットダウン] ボタンは、Windows Home Server の電源を安全にオフにし再び起動できるように Windows Home Server をシャットダウンします。

4 サーバーの管理

Home Server Setup を完了しすべてのホームコンピュータに Windows Home Server Connector ソフトウェアをインストールすると、次のタスクを実行できるようになります。

- ユーザーアカウントの作成
- 共有フォルダの追加
- ホームコンピュータのバックアップの構成
- ホームサーバーのバックアップ
- リモートアクセス用のホームサーバーを構成する
- Aspire easyStore シリーズホームページにアクセスする
- ホームサーバーの共有フォルダにアクセスする
- メディア共有を有効にする
- デジタルメディアサーバーを有効にする
- iTunes サービスを有効にする
- オーディオのストリーム
- 話なっち USB バックアップ機能を使用する
- ホームサーバーでウェイクオン LAN をセットアップする
- ホームサーバーのアップタイムとダウンタイムを設定する
- サーバーの状態とパフォーマンスを監視する
- 電子メール警報のセットアップ
- Windows Home Server の探索アイコン

Windows Home Server Console を使用してホームサーバーを構成する方法の詳細については、37 ページの「3 Windows Home Server Console」を参照してください。

ユーザーアカウントの作成

Home Server Setup を完了しすべてのホームコンピュータに Windows Home Server Connector ソフトウェアをインストールすると、家族のユーザーアカウントをセットアップできるようになります。

ホームサーバーをセットアップできるユーザーアカウントには、次の 2 つのタイプがあります。

- ゲストアカウント - すべての人が同じユーザーアカウントを使用してホームサーバーにアクセスできるようにするには、コンソールでゲストアカウント機能を有効にする必要があります。
- 個人用ユーザーアカウント - ある個人がその個人専用のユーザーアカウントでホームサーバーにアクセスできるようにするには、Windows Home Server で一致するユーザーアカウントを追加し、個別の共有フォルダにアクセス権を与える必要があります。

ゲストアカウントを有効にするには :

ゲストアカウントは、Windows Home Server への専用のユーザーアカウントを持たないユーザーに、共有フォルダへのアクセス権を与えるために使用できます。ゲストアカウントを有効にすると、音楽、写真、ビデオ、パブリック、ソフトウェアなどの共有フォルダへのデフォルトの読み込み権限が与えられます。

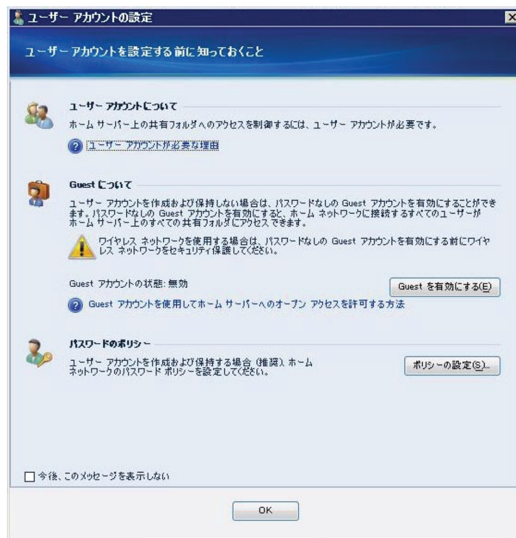


注意 : ゲストアカウントを有効にすると、ホームサーバーはあなたのホームネットワークに接続するすべての人に公開されます。そして、ホームサーバーのすべての共有フォルダとその他のリソースへのアクセスが可能になります。

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2 **Windows Home Server Console** にログオンします。

3　**ユーザーアカウントタブ**をクリックします。



4　[ゲストについて] の下で、**ゲストを有効にする**をクリックします。



注意 : ワイヤレスネットワークをお使いの場合、パスワードなしでゲストアカウントを有効にする前に、それを安全にしてください。詳細については、ワイヤレス装置のマニュアルを参照してください。

5　**[OK]** をクリックします。

個人用ユーザーアカウントを追加するには：



注：新しいユーザーアカウントを追加するたびに、個人用共有フォルダが作成されます。デフォルトで、このユーザーアカウントのみが個人用共有フォルダにアクセスできます。ユーザーは、この個人用共有フォルダに個人用ファイルを格納できます。

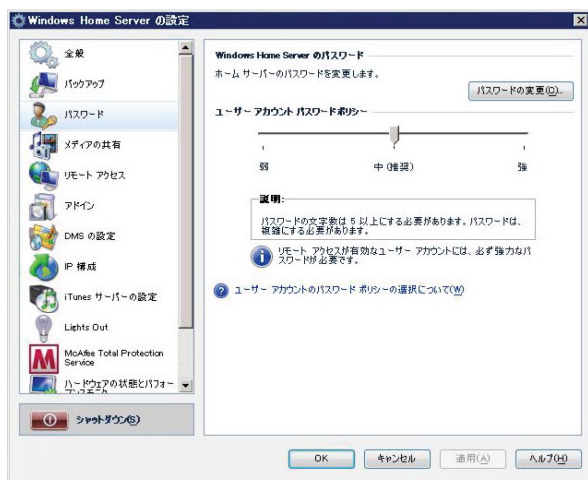
1 システムトレイで、Windows Home Server アイコン をダブルクリックします。

2 Windows Home Server Console にログオンします。

3 **ユーザーアカウント**タブをクリックします。

4 **追加** をクリックします。

5 [ユーザーアカウントセットアップ] ウィンドウで、**ポリシーの設定**をクリックしてユーザーアカウントのパスワードポリシーを設定します。



6 [OK] をクリックします。

7　**追加** をクリックします。

8　ユーザー名を入力します。



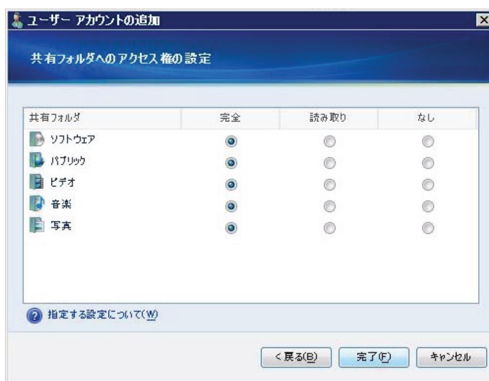
注 : Windows Home Server でユーザーアカウントを作成するとき、ホームコンピュータの既存のユーザーアカウントのログオン名に一致するログオン名を使用してください。また、既存のユーザーアカウントで使用するのと同じパスワードも使用してください。ユーザーアカウントとパスワードが一致しない場合、共有フォルダを開くときユーザー名とパスワードの入力を求められます。

9　ユーザーがホームサーバーにリモートでアクセスするのを許可する場合、[このユーザーのリモートアクセスを有効にする] チェックボックスを選択します。

10　**次へ** をクリックします。

11 7 文字以上でパスワードを入力し、[確認] パスワードフィールドに再入力します。

12 **次へ** をクリックします。



13 ホームサーバーの共有フォルダにユーザーアクセス権に割り当てます。

- 完全 - ユーザーは共有フォルダでファイルを表示、追加、変更、削除することができます。
- 読み込み - ユーザーは共有フォルダでファイルを表示することはできますが、ファイルを追加、変更、または削除することはできません。
- なし - ユーザーは共有フォルダでファイルを表示、追加、変更、または削除することができません。

14 **終了**をクリックします。

15 **完了**をクリックしてウィザードを終了します。



注 :

1. ユーザーアカウントを作成するまで、共有メディアフォルダ (Video/Photo/Music) に完全にアクセスすることはできません。ユーザーアカウントを作成していないと、ファイルを読むことはできますがホームサーバーにファイルを保存することはできません。
2. 新しいユーザーアカウントを追加するたびに、個人用共有フォルダが作成されます。デフォルトで、このユーザーアカウントのみが個人用共有フォルダにアクセスできます。ユーザーは、これらの個人用共有フォルダに個人用ファイルを格納できます。ゲストアカウントが有効になっている場合でも、他のユーザーアカウントはアクセスできません。

共有フォルダの追加

共有フォルダは、ホームネットワークで他の人と共有できるようにホームサーバーでファイルを整理または保管できる場所です。

1　システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2　**Windows Home Server Console** にログオンします。

3　**共有フォルダ**タブをクリックします。

4　**追加** をクリックします。



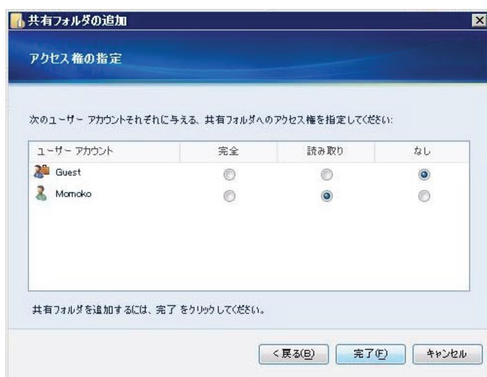
5　共有フォルダの名前と説明を入力します。

6　共有フォルダのフォルダとファイルを複数のハードドライブにまたがって複製する場合、[フォルダの複製を有効にする] チェックボックスを選択します。

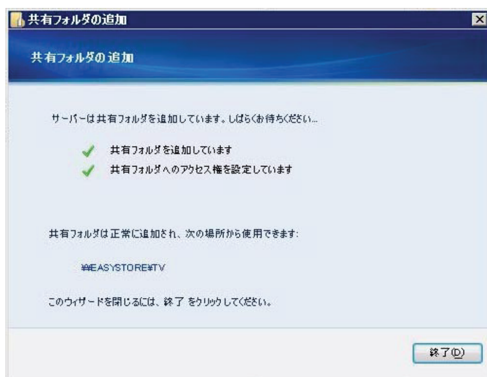


注 : フォルダの複製を有効にする前にホームサーバーに複数のハードドライブをサーバーに追加し、複製を行えるだけの十分なストレージスペースを確保する必要があります。

7 **次へ** をクリックします。



8 新規共有フォルダにユーザー権限を割り当て、**終了**をクリックします。



9 **完了**をクリックしてウィザードを終了します。

ホームコンピュータのバックアップの構成

Windows Home Server Console から、それぞれのホームコンピュータのバックアップをカスタマイズできます。



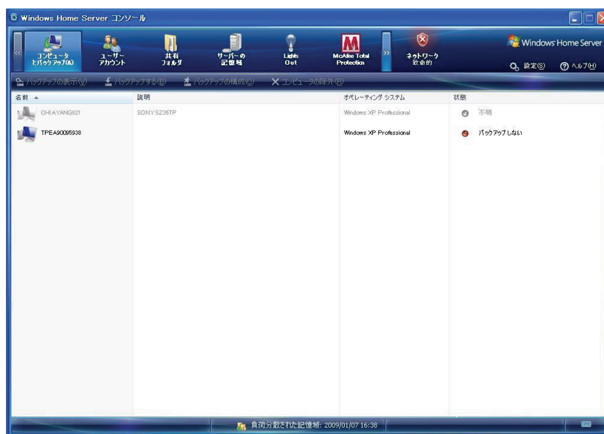
注 :Windows Home Server Connector をホームコンピュータにインストールすると、ホームコンピュータのハードドライブボリュームはすべて毎晩自動的にバックアップされます。

コンピュータでバックアップを構成するには :

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2 **Windows Home Server Console** にログオンします。

3 **コンピュータとバックアップ**タブをクリックします。



4 「バックアップ構成ウィザード」を完了してバックアップするボリュームとバックアップから除外するフォルダを選択します。

自動バックアップとメンテナンスを実行する期間を調整できます。選択する期間は、ホームコンピュータが使用されていない時を選ぶ必要があります。期間は、1 時間以上 23 時間以下の長さに設定する必要があります。デフォルト設定では、開始時間 : 12:00 AM および終了時間 : 6:00 AM になっています。

ホームサーバーのバックアップ

Windows Home Server 共有フォルダとアプリケーションフォルダにある重要なファイルのバックアップコピーを取っていることを確認するために、ホームサーバーをバックアップすることができます **サーバーストレージ**タブを使用すると、ホームサーバーにハードドライブを追加してサーバーのバックアップに使用することができます。

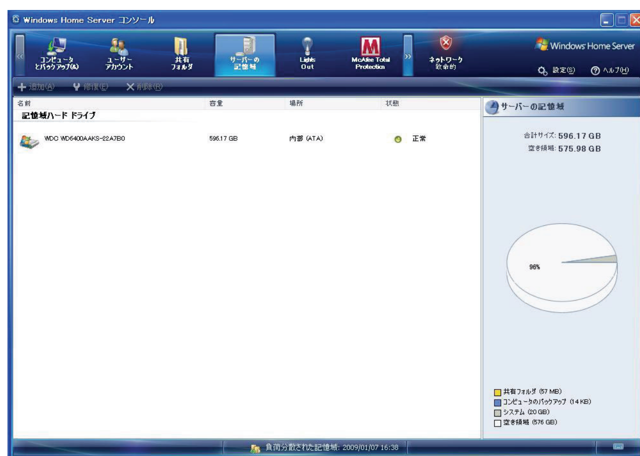
ホームサーバーをバックアップするには：

1 新しいハードドライブをホームサーバーに取り付けます。107 ページの「ハードディスクドライブを追加する」のステップ 1 を参照してください

2 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

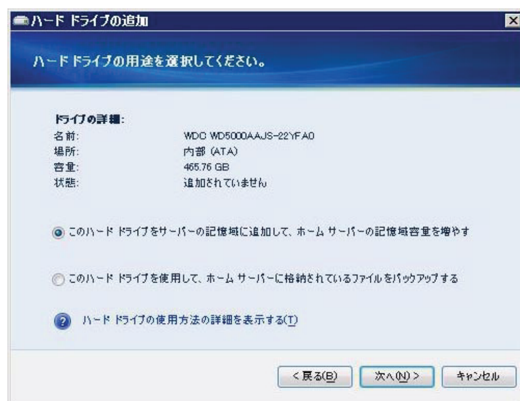
3 **Windows Home Server Console** にログオンします。

4 **サーバーストレージ**タブをクリックします。



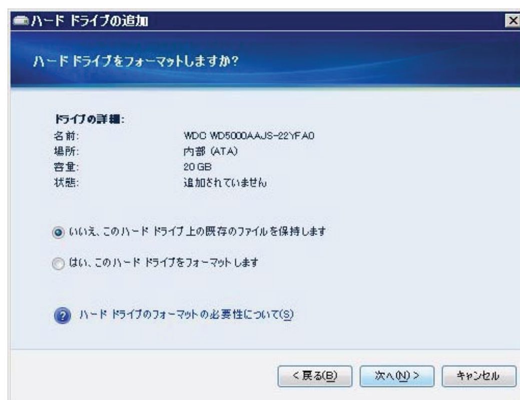
5 新たに取り付けたハードドライブ（内蔵または外付け）を選択し、**追加**をクリックして「ハードドライブの追加」ウィザードを実行します。

6 **次へ** をクリックします。

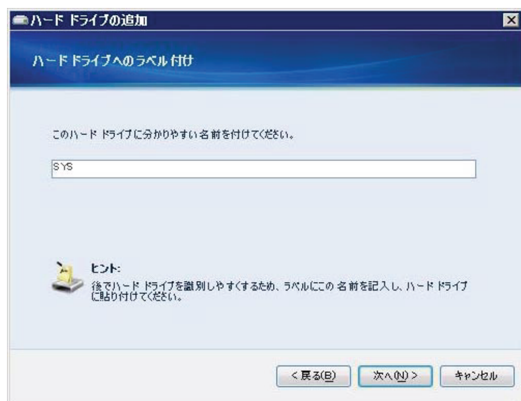


7 「このハードドライブを使用してホームサーバーに格納されたファイルをバックアップする」オプションボタンを選択します。

8 **次へ** をクリックします。



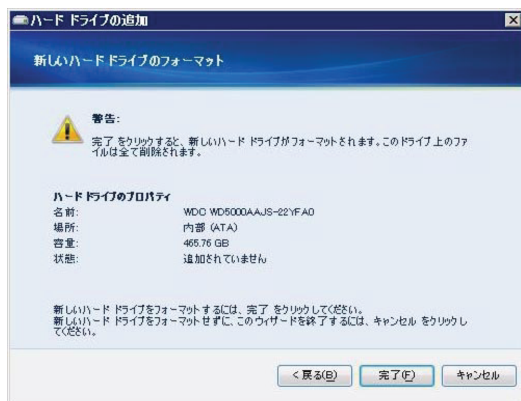
9　ハードドライブを保存するかフォーマットするかを選択し、**次へ**をクリックします。



10　ハードドライブの名前を入力し、**次へ**をクリックします。

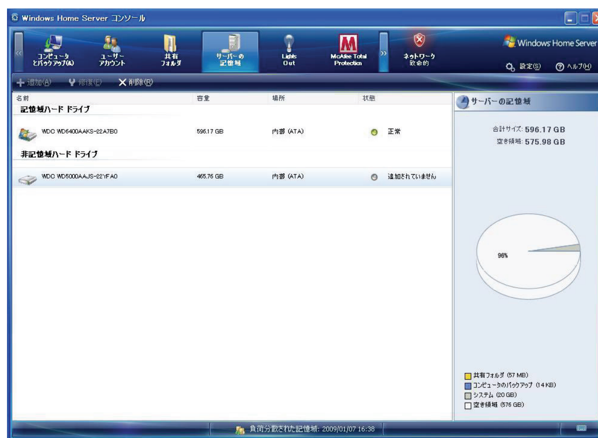


注 : この名前をラベルに記載し、ハードドライブに貼り付けると後で識別が容易になります。



11　**終了**をクリックします。

12　**完了**をクリックします。



13　**コンピュータとバックアップタ ブ**をクリックします。

14　使用するサーバーバックアップ用ハードドライブを選択し、共有フォルダとアプリケーションフォルダをバックアップします。

15　**今バックアップする**をクリックします

16　各共有フォルダに対して宛先のハードドライブを選択します。

17　**今バックアップする**をクリックします

18　**閉じる**をクリックします

リモートアクセス用のホームサーバーを構成する

インターネット接続でどこからでもファイルとホームコンピュータに容易にアクセスできるように、リモートアクセス用のホームサーバーを構成する必要があります。ファイルをダウンロードし、ファイルをアップロードし、ホームコンピュータに接続し、ホームサーバーを管理することができます。

リモートアクセス用のホームサーバーを構成するには :



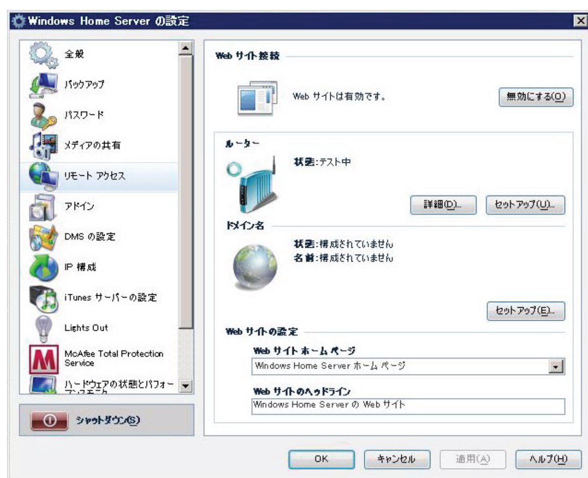
重要 : リモートアクセス権限を持つ個人用ユーザーアカウントのみが、Aspire easyStore シリーズホームページにログインできます。

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2 **Windows Home Server Console** にログオンします。

3 **設定** をクリックします。

4 ナビゲーションペインで、**リモートアクセス**を選択します。



5 Web Site Connectivity の下で、**オンにする**をクリックしてホームサーバーへのリモート接続を許可します。

6 ルータの下で、**セットアップ**をクリックしブロードバンドルータを構成します。ルータが UPnP 標準をサポートしていることを確認します。Windows Home Server ホームサーバーが自動的に構成できるようにするには、ルータで UPnP 設定を有効にする必要があります。

このステップで、Windows Home Server は UPnP 認定ルータからホームサーバーに転送するようにパーシステントポートを構成します。

- ポート 80 - ホームネットワークを介し、HTTP プロトコルを使用して、Aspire easyStore シリーズホームページに接続します。
- ポート 443 - ホームネットワークを介し、暗号化されたセキュアソケットレイヤプロトコルである、HTTPS を使用して、Aspire easyStore シリーズログオンページに接続します
- ポート 4125 - リモートデスクトッププロキシを介して、ホームコンピュータに接続します。



注 : ルータ構成の詳細については、リモートアクセスページの**ヘルプ**をクリックしてください。

7 ドメイン名の下で、**セットアップ**をクリックしホームサーバー用のドメイン名をカスタマイズします（smithfamily.homeserver.com、など）。

ドメイン名は、インターネットのホームサーバーを一意に識別します。自宅から離れている間、ホームサーバーに接続するために使用されます。インターネットの IP アドレスが変更されても、カスタマイズしたドメイン名を使用してホームネットワークに接続することができます。例えば、smithfamily.homeserver.com という名前を登録し、その名前を使用して Aspire easyStore シリーズ Web サイトに接続できます。



注 : ホームサーバーのドメイン名をセットアップするには、Windows Live ID が必要です。

8 **次へ** をクリックします。

9 Windows Live ID メールアドレスとパスワードを入力して、ドメイン名のセットアップを開始します。

Windows Home Server には組込型ダイナミック DNS クライアント機能が含まれ、カスタマイズされたドメイン名を ISP（インターネットサービスプロバイダ）により割り当てられた外部の IP アドレスに結合します。

10 **次へ** をクリックします。

11 「同意する」オプションをクリックし、**次へ**をクリックします。

12 ドメイン名を入力し、サブドメイン名を選択します。

13 **確認**をクリックして、サブドメインが使用できることを確認します。

14 **終了**をクリックします。

15 Web Site Settings の下で、Aspire easyStore シリーズ Web に表示されるデフォルトのホームページと Web サイトヘッドラインを選択することができます。

16 **[OK]** をクリックします。

17 リモートアクセスを構成したら、ホームの外部からリモート接続をテストします。79 ページの「Aspire easyStore シリーズホームページにアクセスする」を参照してください。

Aspire easyStore シリーズホームページにアクセスする

リモートアクセス用のユーザー名を構成すると、ホーム外部のコンピュータの Web ブラウザを使用してホームサーバーとホームコンピュータにリモートでアクセスできるようになります。

Aspire easyStore シリーズホームページで、次を実行できます。

- Windows Home Server Console にリモートでアクセスする。
- ホームコンピュータにリモートでアクセスする。
- 共有フォルダにファイルをリモートでダウンロードまたはアップロードする。



重要 : Iernet Explorer を使用し、Web 上でホームサーバーにアクセスしリモートで管理してください。ホームコンピュータまたは Windows Home Server Console にアクセスするなどの一部の機能は、他の Web ブラウザを使用しているときご利用になれません。

Aspire easyStore シリーズホームページにアクセスするには :



注 : ゲストまたは管理者アカウントを使用してホームページにアクセスすることはできません。リモートアクセスに対して有効にされた、個人用ユーザーアカウントでログオンする必要があります。

1 ホームサーバーがリモートアクセスに対して構成されていることを確認します。76 ページの「リモートアクセス用のホームサーバーを構成する」参照してください。



注 : Windows Home Server でリモートアクセス機能を使用するには、ブロードバンドプロバイダからサービスを追加する必要があります。詳細については、Windows Home Server Console Help を参照してください。

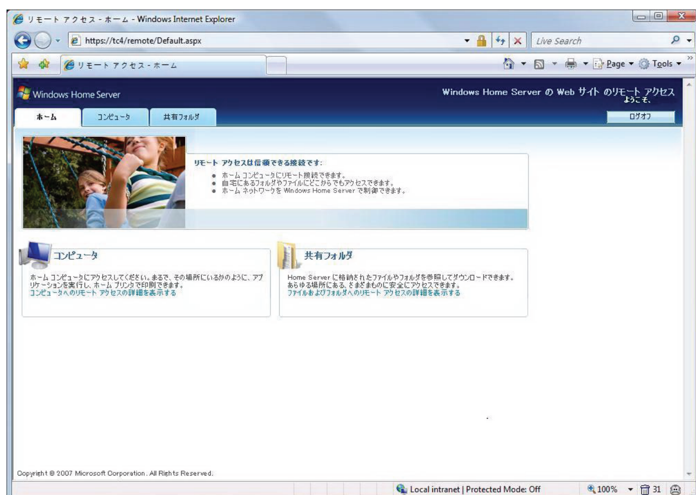
2 Internet Explorer Web ブラウザを開きます。

3 リモートアクセスのセットアップ手順の間に割り当てられた、インターネットドメイン名を入力します。例えば、https://SmithFamily.HomeServer.com のように入力します、ここで、SmithFamily.HomeServer はホームサーバーに割り当てられたドメイン名です。

4 右上の**ログオン**をクリックします。

5 ホームサーバーのユーザー名とパスワードを入力します。

6 **ログオン**をクリックします。



ホームページには、次の 3 つのタブが含まれています。

- ホーム - このページは、Web ページにログオンするたびに表示されます。
- コンピュータ - ホームサーバーとホームコンピュータでリモート管理を実行します。

  ホームサーバーにアクセスするには、[コンピュータ] タブで**ホームサーバーに接続する**をクリックし、管理者パスワードを入力します。Windows Home Server Console が開きます。

  ホームコンピュータにアクセスするには、[コンピュータ] タブの「コンピュータにリモートアクセス」フィールドの下で**ホームコンピュータの名前**をクリックします。



注 : リモートアクセスを許可するようにホームコンピュータが構成されていることを確認してください。この構成を完了する方法の詳細については、133 ページの「Aspire easyStore シリーズ Remote Access ページで接続できないコンピュータがあります」を参照してください。

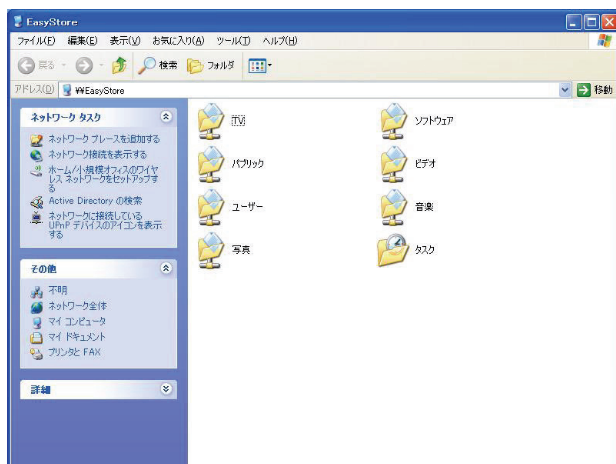
- 共有フォルダ - アクセス権を持つ共有フォルダにインターネットを介してアクセスします。

ホームサーバーの共有フォルダにアクセスする

ホームサーバーの共有フォルダにアクセスする方法は、いくつかあります。

デスクトップショートカットを使用して共有フォルダにアクセスするには：

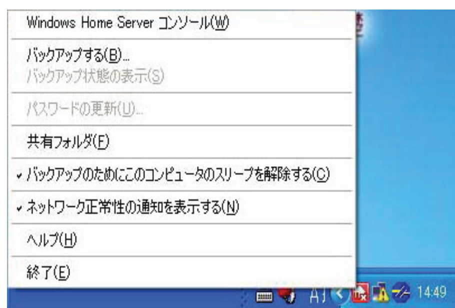
1　**共有フォルダ**デスクトップショートカット をダブルクリックして、ホームサーバー上にある共有フォルダを表示します。



2　共有フォルダをダブルクリックして開きます。

Windows Home Server アイコンを使用して、共有フォルダにアクセスするには：

1 **Windows Home Server アイコン**をクリックします。

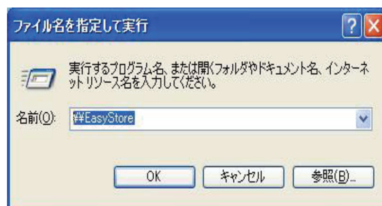


2 **共有フォルダ**をクリックします。

3 ウィンドウで共有フォルダをダブルクリックして開きます。

Windows の [スタート] メニューを使用して共有フォルダにアクセスするには：

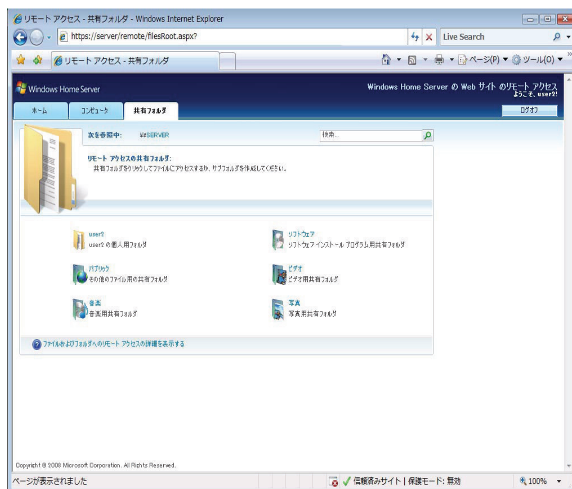
- Windows Vista で、**スタート**をクリックし、[検索の開始] テキストボックスに \\homeservername と入力します。ここで、homeservername (つまり、Aspirehome) はホームサーバーの名前です。ウィンドウで共有フォルダをダブルクリックして開きます。
- Windows XP で、**スタート**をクリックし、**ファイル名を指定して実行**をクリックし、[開く] テキストボックスに \\homeservername と入力します。ここで、homeservername (つまり、Aspirehome) はホームサーバーの名前です。ウィンドウで共有フォルダをダブルクリックして開きます。



インターネットを使用して共有フォルダにアクセスするには：

1　Aspire easyStore シリーズホームページにログオンするには：79 ページの「Aspire easyStore シリーズホームページにアクセスする」参照してください。

2　[共有フォルダ] タブをクリックします。



3　特定の共有フォルダにナビゲートし、ファイルをホームサーバーにダウンロードまたはアップロードできます。

メディア共有を有効にする

Windows Home Server では、音楽、写真、およびビデオをホームサーバーからサポートされるデジタルメディアサーバー（Xbox 360、など）に、またはサポートされるデジタルメディアプレーヤー（Windows Media Player 11、など）にストリームします。

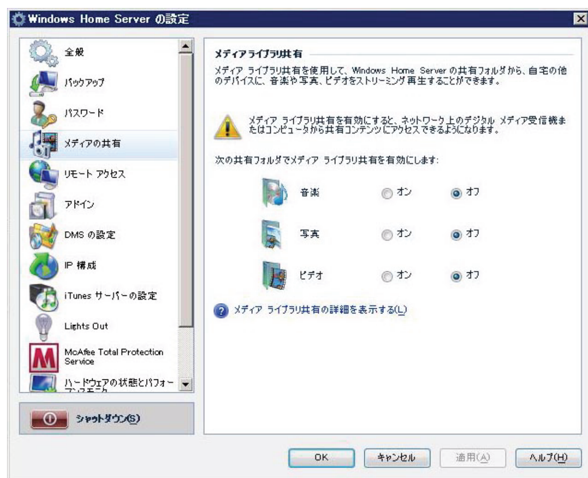
メディア共有を有効にするには：

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2 **Windows Home Server Console** にログオンします。

3 **設定** をクリックします。

4 ナビゲーションペインで、**メディア共有**を選択します。



5 フォルダを選択し、**オン**をクリックします。

6 **[OK]** をクリックします。

デジタルメディアサーバーを有効にする

「デジタルメディアサーバー」機能では、ホームサーバーのメディアコンテンツを参照、アクセスおよび再生します。iTunes および Xbox 360 ユーザーがホームサーバーのメディアファイルを共有することもできます。

ホームサーバーは、次のデジタルメディアファイルをサポートしています：

- 音楽：MP3、WMA、WAV、AAC、AC3、FLAC、APE、OGG、VOC、AIFF、AU、MID
- ビデオ：WMV、ASF、MOV、AVI、MPEG、3GP、SWF、FLV、RMVB、RM、RA、RAM、MP4、MPG、MPE、M2V、TP、TS、MLV、MKV、DIVX
- 写真：GIF、PNG、BMP、JPG、JEPG、ICO、TIFF、DXF、WMF、EMF、PICT、EPS、CDR

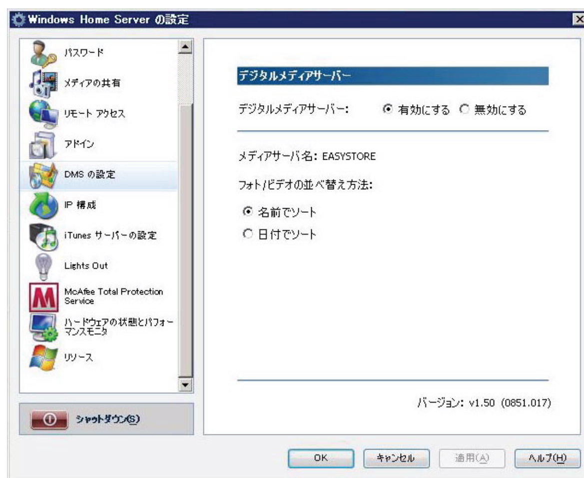
デジタルメディアサーバーを有効にするには：

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2 **Windows Home Server Console** にログオンします。

3 **設定** をクリックします。

4 ナビゲーションペインで、**DMS の設定**を選択します。



5 デジタルメディアサーバーの下で、[有効にする] オプションボタンをクリックします。

6 写真やビデオ共有フォルダでの並べ替え方法を選択します。

- 名前でソート - 写真とビデオは最初の構成に従って整理されます。これは、デフォルトのオプションです。
- 日付でソート - デジタルメディアサーバーはファイルの最新の変更日を自動チェックし、年ごとのさまざまな仮想フォルダと月ごとのサブフォルダを作成します。

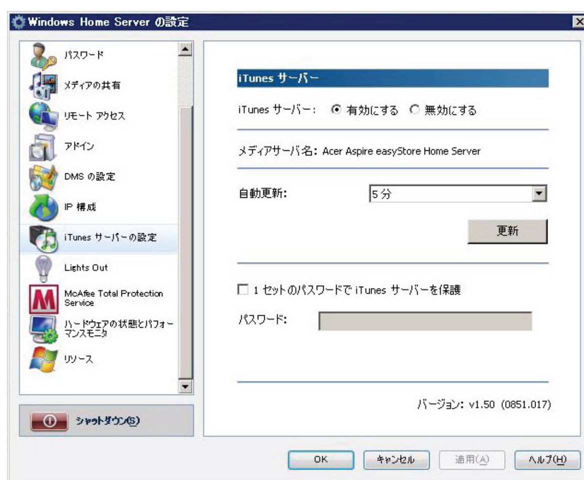
7 **[OK]** をクリックします。

iTunes サービスを有効にする

デジタルメディアサーバー機能では、iTunes Server 機能の有効 / 無効を切り替え、音楽ライブラリの更新頻度を指定し、iTunes Server アクセスを安全にするためのパスワードを設定します。

iTunes サービスを有効にするには：

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。
2 **Windows Home Server Console** にログオンします。
3 **設定** をクリックします。
4 ナビゲーションペインで、**iTunes サービスの設定**を選択します。



5 iTunes サーバーの下で、[有効] オプションボタンをクリックします。
6 iTunes が新しい音楽ファイルを探してホームサーバーをスキャンできる頻度を指定します。
7 iTunes サーバーを保護するためのパスワードを入力します。
8 [OK] をクリックします。

オーディオのストリーム

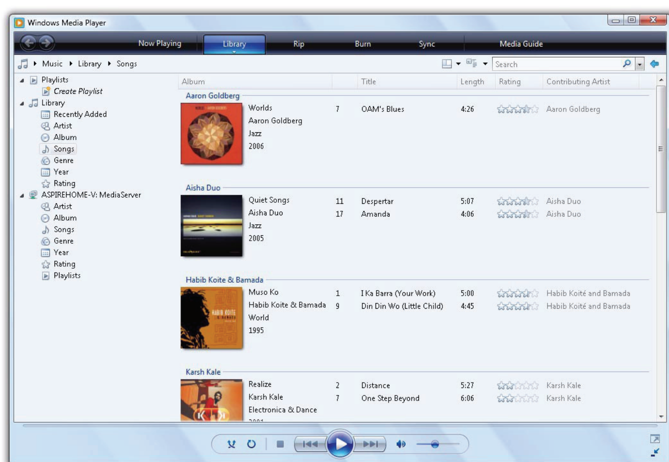
Windows Media Player 11 または iTunes を使用して、ホームサーバーに保存された音楽ファイルをコンピュータで再生できます。

Windows Media Player 11 でオーディオをストリームするには：

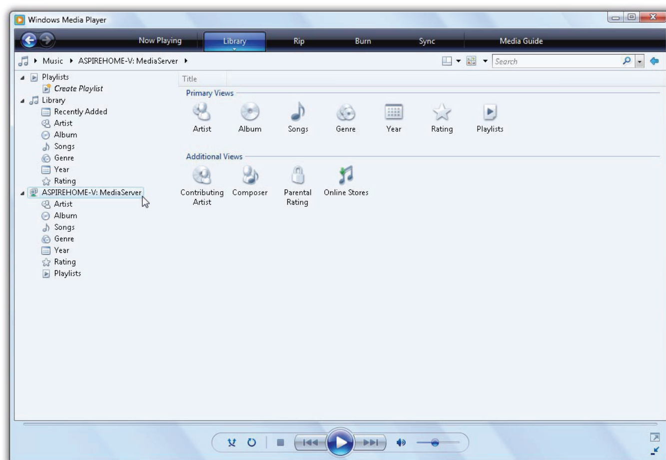
1 メディア共有が有効になっていることを確認します。詳細については、84 ページの「メディア共有を有効にする」を参照してください。

2 デジタルメディアサーバーが有効になっていることを確認します。詳細については、85 ページの「デジタルメディアサーバーを有効にする」を参照してください。

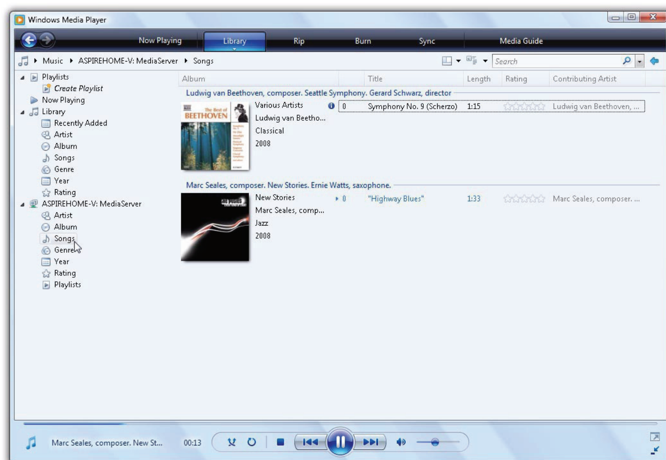
3 Windows Media Player を開きます。



4 ライブラリタブをクリックします。Acer Aspire easyStore シリーズがナビゲーションペインに表示されます。



5 再生するアイテムを参照または検索し、再生ボタンをクリックします。



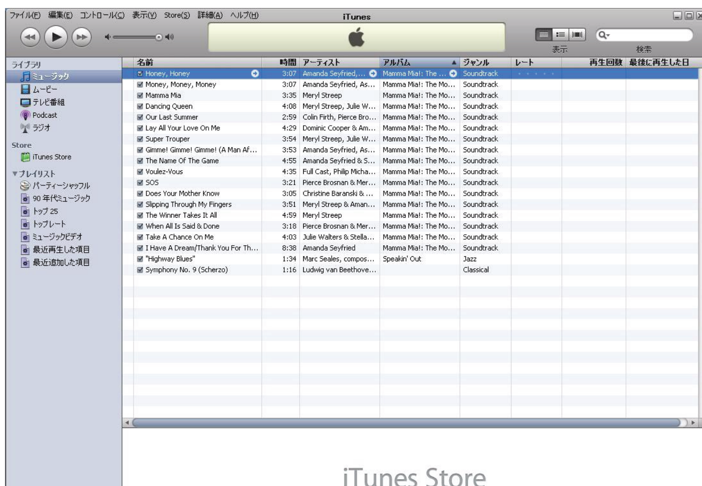
iTunes でオーディオをストリームするには :

1 メディア共有が有効になっていることを確認します。詳細については、84 ページの「メディア共有を有効にする」を参照してください。

2 iTunes サービスが有効になっていることを確認します。詳細については、60 ページの「iTunes Server の設定」を参照してください。

3 iTunes を開きます。Acer Aspire easyStore シリーズが iTunes ウィンドウの左に表示されます。

オーディオファイルは iTunes でストリーミングされ、共有リストの下に表示されます。



4 再生するアイテムを参照または検索し、**再生**ボタンをクリックします。

話なっち USB バックアップ機能を使用する

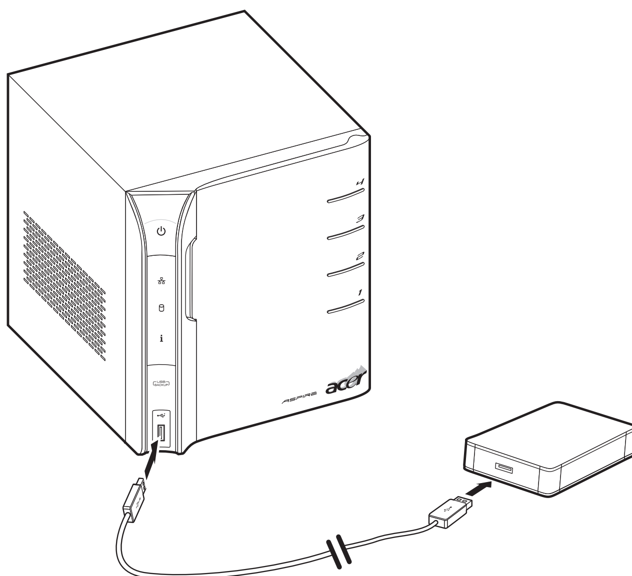
フロントパネルの USB バックアップボタンでは、USB ストレージデバイスからホームサーバーにデータをバックアップします。Windows Home Server はすべてのファイルをまず [パブリック] 共有フォルダにコピーし、次にメディアタイプに従ってファイルを対応する共有フォルダ、つまり音楽、ビデオ、写真に分類します。Windows Home Server がファイルタイプを判断できない場合、ファイルは [その他] フォルダに保存されます。



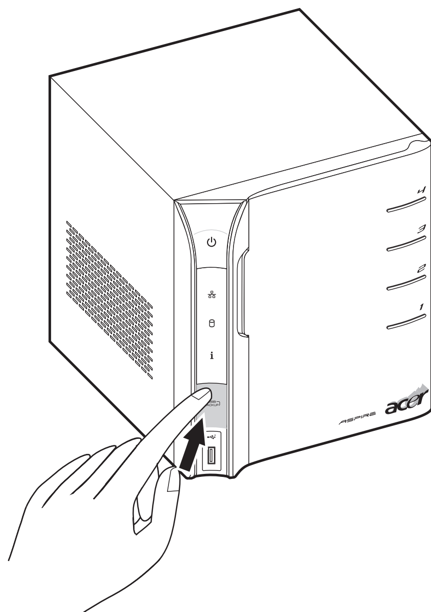
重要 : フロント USB ポートのみが、バックアップ機能をサポートします。

ワンタッチ USB バックアップを使用して、USB ストレージデバイスからデータをバックアップするには :

1 USB デバイスをフロント USB ポートに差し込みます。



2 USB バックアップボタンを押します。USB バックアップインジケータが青で点滅します。



3 USB デバイスのすべてのファイルが、[パブリック] 共有フォルダにコピーされます。



注 : コピープロセス中、Windows Home Server は時刻、サイズ、およびファイル名を含むファイルプロパティをチェックして、同じ名前のファイルまたはまったく同じファイルがフォルダに存在するかどうかを確認します。名前が競合する場合、データはコピーされますがファイル名にシリアル番号が割り当てられます。まったく同じプロパティのファイルが [パブリック] 共有フォルダに存在する場合、ファイルはコピープロセスから除去されます。

4 後に、Windows Home Server はそのファイルタイプに従って新たにコピーされたファイルを自動的にコピーし、分類します。

5 対応する共有フォルダ（音楽、ビデオおよび写真）に異なるタイプのファイルが見つかることもあります。音楽、ビデオおよび写真以外のファイルは、[その他] フォルダに収納されます。

6 バックアッププロセスが完了すると、USB バックアップインジケータは青で点灯します。

ホームサーバーでウェイクオン LAN をセットアップする

ホームサーバーには Lights Out ソフトウェアが含まれており、ホームコンピュータがホームサーバーの電源状態を制御し、ホームサーバーをスタンバイから呼び起こすことができるようになっています。Lights Out クライアントサービスは、バックグラウンドで作動します。ユーティリティには、ユーザーインターフェイスは付いていません。アドレスを構成する必要はありません。（Windows Home Server Connector ソフトウェアがインストールされた）クライアントコンピュータが起動するたびに、またはスタンバイから呼び起こされるとき、WOL (Wake On LAN) マジックパケットがサーバーに送信されます。

ホームサーバーでウェイクオン LAN をセットアップするには：

1 Aspire easyStore シリーズソフトウェアインストールディスクを、ホームホームコンピュータの光学ドライブにセットします。インストールウィザードが起動します。

   または、**Client Installation.exe** ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。ようこそ画面が表示されます。



2 **Lights out** をクリックします。



注 : Lights Out クライアントインストーラは、ホームコンピュータに Windows Home Server Connector がインストールされているかどうかをチェックします。コネクタが見つからない場合、インストールは中断されます。

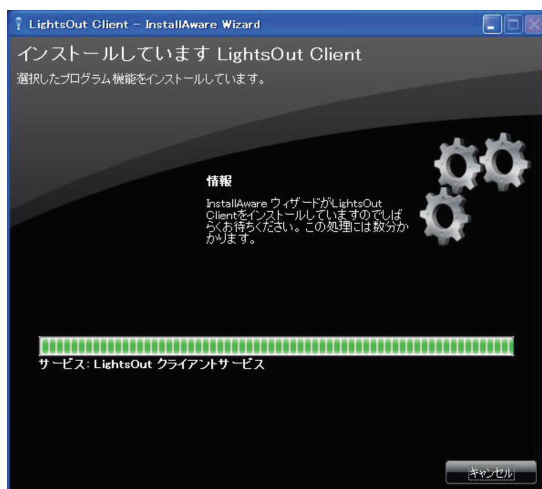
3 言語を選択します。



4 [OK] をクリックします。ようこそ画面が表示されます。



5 **次へ** をクリックします。



6 **終了**をクリックします。

ホームサーバーのアップタイムとダウンタイムを設定する

ホームサーバーの電源をオンにして実行するときを定義したり、データ紛失のリスクを軽減するためにアクティブなバックアップ操作の間サーバーが決してスリープモードに入らないようにサービスを定義することができます。



注： アップタイムを作成しているとき、開始時間と終了時間を入力する必要があります。アップタイムの終了動作は、スタンドアロン動作として、またはアップタイムと組み合わせて作成できます。

ホームサーバーのアップタイムとダウンタイムを設定するには：

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

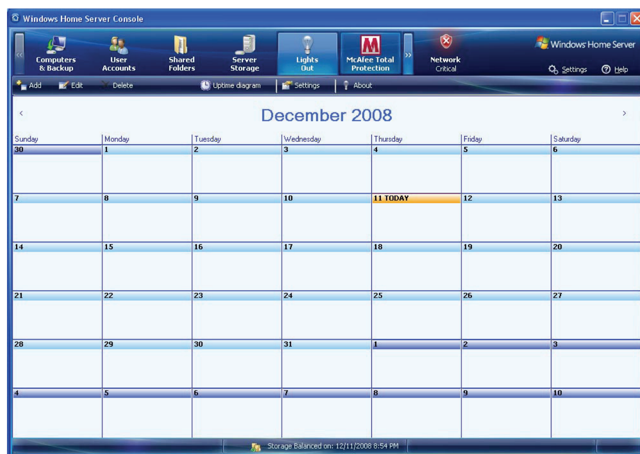
2 **Windows Home Server Console** にログオンします。

3 **Lights Out** タブをクリックします。

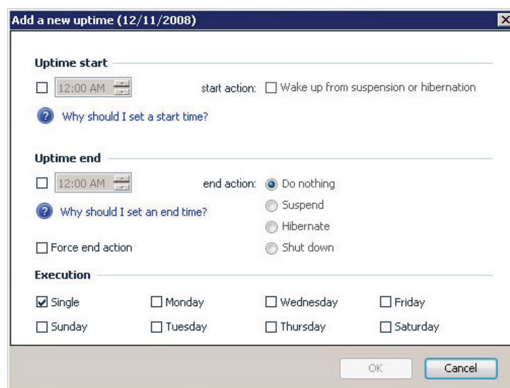


ホームコンピュータは、図ではカラーブロックとして示されます。6 台以上のコンピュータを使用している場合、カラーは重複します。図は、凡例の上から下へと同じ順序で、左から右へ作成されます。

4　カレンダーをクリックします。



5　カレンダーで 1 日または数日を選択し、**追加**をクリックします。



6　アップタイム開始下で、サーバーが実行し続ける開始時間を設定します。

7　ホームサーバーを定義された時間にスタンバイから呼び起こす場合、「サスペンションから呼び起こし」を有効にします。

8　アップタイム終了下で、サーバーを無効にする終了時間を設定します。

9　次の終了動作から選択します。

- 何もしない - このオプションは、スタンドアロンの終了動作で役に立ちます。

- サスペンド - サーバーをサスペンドモードに入れます
- シャットダウン - サーバーをシャットダウンし、電源をオフにします

10 クライアント監視でアクティブなクライアントが検出された場合でも、直ちにサーバーを無効にする場合、「動作の強制終了」オプションを有効にします。

11 アップタイム開始およびアップタイム終了パラメータで選択したコマンドを実行する日を、1 日または数日から選択します。

12 **[OK]** をクリックします。

サーバーの状態とパフォーマンスを監視する

システムは「ハードウェアの状態とパフォーマンスの監視」機能を含んで、ホームサーバーのシステム状態を見守ることができるようになっています。CPU 使用率、メモリ使用率、およびストレージ使用率のパフォーマンスカウンタをグラフ表示して、ホームサーバーのファン、電圧、および温度の状態を表示できます。



注 : 監視サービスを正常に開始するには、ホームサーバー上で管理者権限を持っている必要があります。

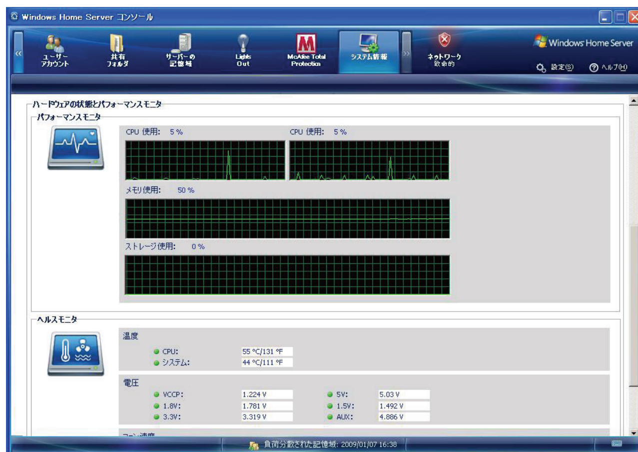
ホームサーバーのハードウェア状態とパフォーマンスデータを監視するには :

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2 **Windows Home Server Console** にログオンします。

3 **システム情報**タブをクリックします。

4 「ハードウェアのパフォーマンスと状態監視」フィールドまで、下にスクロールします。



電子メール警報のセットアップ

温度、ファン速度、またはハードドライブに関連する警告またはエラーが発生した場合、警報を出す自動電子メール通知をセットアップできます。電子メール警報機能を有効にするには、SMTP セットアップを構成する必要もあります。

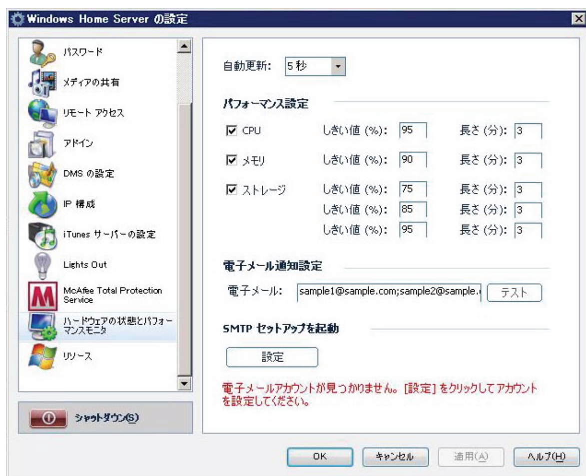
電子メールの自動通知をセットアップするには：

1 システムトレイで、**Windows Home Server** アイコン をダブルクリックします。

2 **Windows Home Server Console** にログオンします。

3 **設定** をクリックします。

4 ナビゲーションペインで、**ハードウェアの状態とパフォーマンス監視**を選択します。



5 電子メール警報設定で、電子メール警報を送信する電子メールアドレスを入力します。複数のアドレスを使用している場合、セミコロンを使用して異なるアドレスを区切ってください。

6　SMTP セットアップの起動の下で、**設定**をクリックします。



[インターネットアカウント] ダイアログボックスには、次のオプションが含まれています :

- 削除 - インターネットメールアカウントを削除します。.
- プロパティ - [プロパティ] ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスで、確立した接続のプロパティを設定します。
- デフォルトとして設定 - 1 次アカウントとしてインターネットメールアカウントを設定します。
- インポート - インターネットアカウント (.iaf) ファイル形式にインターネットメールアカウント設定をインポートします。
- エクスポート - インターネットメールアカウント設定をエクスポートします。
- 閉じる - [インターネットアカウント] ダイアログボックスを終了します。

7 **追加**をクリックしてインターネット接続を追加します。

インターネット接続ウィザード

名前

電子メールを送信するときに、名前が [送信者] のフィールドに表示されます。表示する名前を入力してください。

表示名(D):

例 : Taro Chofu

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8 名前を入力し、**次へ**をクリックします。

インターネット接続ウィザード

インターネット電子メール アドレス

電子メールのアドレスは、ほかのユーザーがあなたに電子メールを送信するために使います。

電子メール アドレス(E):

例 : t-chofu@microsoft.com

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

9　電子メールアドレスを入力し、**次へ**をクリックします。

インターネット接続ウィザード

電子メール サーバー名

受信メール サーバーの種類(S)　POP3

受信メール (POP3 または IMAP) サーバー(I):

SMTP サーバーは、電子メールを送信するときに使用するサーバーです。

送信メール (SMTP) サーバー(O):

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

10　SMTP サーバー情報を入力し、**次へ**をクリックします。



注 : 着信および送信 SMTP サーバー名が分からない場合、お使いの ISP (インターネットサービスプロバイダ) にお問い合せください。

インターネット接続ウィザード

インターネット メール ログオン

インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを入力してください。

アカウント名(A):　momoko

パスワード(P):

☑ パスワードを保存する(W)

メール アカウントにアクセスするときに、インターネット サービス プロバイダがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を必要としている場合は [セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する] をオンにしてください。

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する(S)

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

11 ISP から割り当てられたアカウント名とパスワードを入力し、**次へ**をクリックします。



注： ISP から SPA（セキュリティで保護されたパスワード認証）を使用するように要求されたら、[SPA（セキュリティで保護されたパスワード認証）を使ってログオンする] チェックボックスを選択します。



12 **終了**をクリックします。

13 「ハードウェアの状態とパフォーマンス監視」ページで、**テスト**をクリックして指定された電子メールアドレスにテストメールを送信し、通知がスムーズに届くかどうかを確認します。

14 **[OK]** をクリックします。

詳細については、「ハードウェアの状態とパフォーマンス監視」ページのヘルプをクリックしてください。

Windows Home Server の探索アイコン

Windows Home Server アイコンは、ホームサーバーとホームコンピュータの状態について通知します。これには、ユーザーアカウントパスワードの不一致、ソフトウェアのアップグレード、バックアップ状態に関する通知が含まれます。このアイコンは、右クリックメニューを介して、Windows Home Server Connector ソフトウェアにクイックアクセスします。

Windows Home Server アイコンの色は、ホームサーバーの状態を表しています。

色	状態
	正常なネットワークを示します
	直ちに注意する必要のある危険な問題を示します
	直ちに注意する必要のある問題を示します
	バックアップが進行中であることを示します
	コンピュータが Windows Home Server に接続できないことを示しています

詳細については、Windows Home Server アイコンを右クリックし、[ヘルプ] をクリックします。

5 ハードディスクドライブを構成する

システムは最大 4 つの 3.5 インチホットスワップ可能な SATA ハードディスクドライブをサポートします。



警告 : HDD ベイの下部にある最初のハードドライブは、ホットスワップ可能でありません。

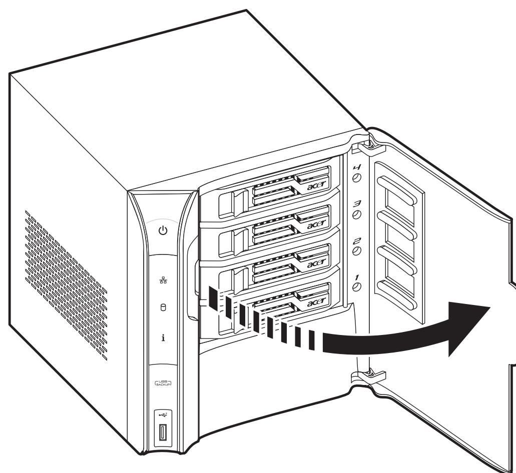
ハードディスクドライブを追加する



注意 : ハードドライブは、サーバーストレージに追加される前にフォーマットされます。ハードドライブをサーバーストレージに追加する前に、重要なファイルのバックアップを取っていることを確認してください。ハードドライブをフォーマットすると、ハードドライブのファイルはすべて削除されます。

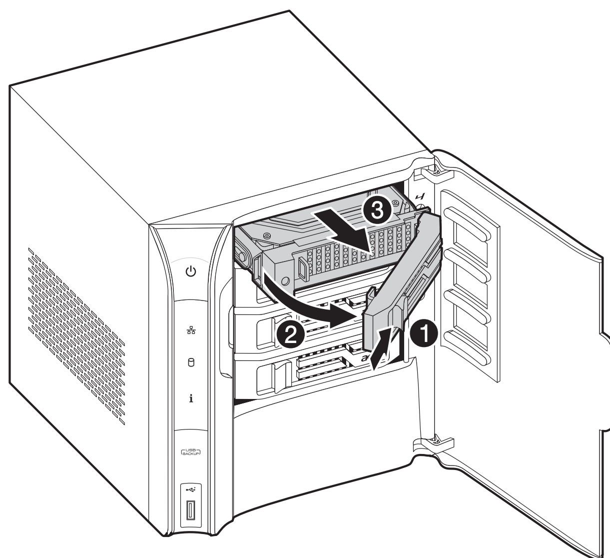
1　新しい HDD をホームサーバーに取り付ける。

(1)　ホームサーバーのドアを開けます。



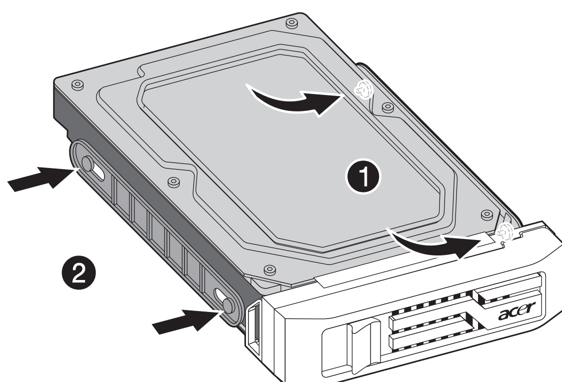
(2) HDD キャリアラッチ (1) を押して、HDD キャリアを取り外します。

(3) レバー (2) を引っ張り、シャーシ (3) から HDD キャリアをスライドさせます。



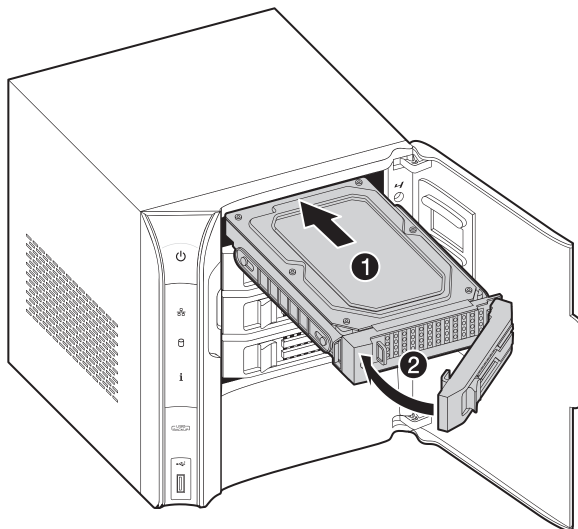
(4) 新しいドライブをキャリアの右側に挿入し、ピンを HDD の取り付け穴 (1) に揃えます。

(5) 左側のレールをわずかに曲げて、ピンを HDD の取り付け穴 (2) に差し込みます。



(6) レバーを伸ばしたまま、キャリアをスライドベイ (1) に最後までスライドさせます。自動的に閉じるまで、レバーを押さないでください。

(7) 適切な位置にドッキングするまでレバーを使用してキャリアを押し、レバー (2) を閉じます。



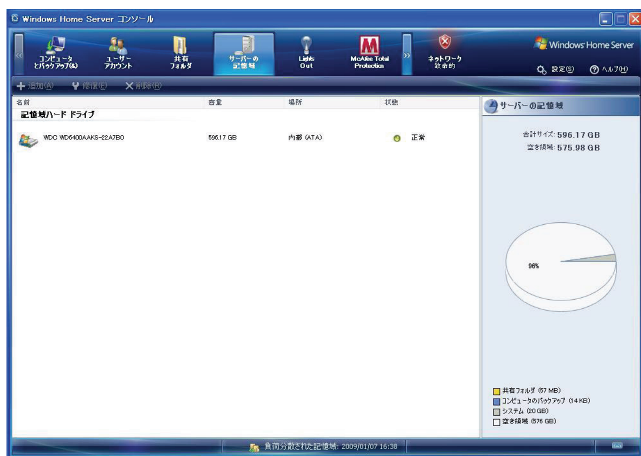
(8) ホームサーバーのドアを閉じます。

2 ハードドライブを Windows Home Server Console のサーバーストレージに追加します。

(1) システムトレイで、**Windows Home Server** アイコンをダブルクリックします。

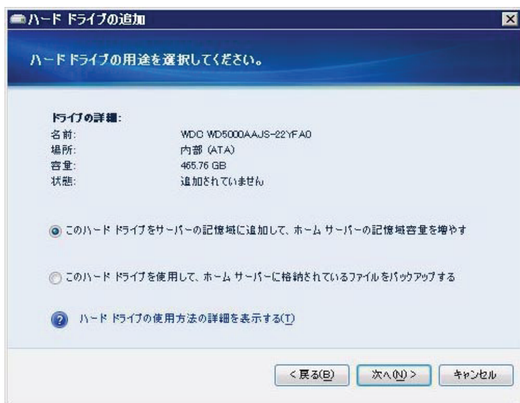
(2) **Windows Home Server Console** にログオンします。

(3) **サーバーストレージタブ**をクリックします。



(4) 新たに取り付けたハードドライブ（内蔵または外付け）を選択し、**追加**をクリックして「ハードドライブの追加」ウィザードを実行します。

(5) **次へ** をクリックします。



(6) 次のオプションから選択します。

- このハードドライブをサーバーストレージに追加して、ホームサーバーのストレージ容量を増加します。このオプションでは、ホームコンピュータのバックアップを保存するためのスペースと、共有フォルダ用のスペースを確保します。

- このハードドライブを使用してホームサーバーに格納されたファイルをバックアップします。このオプションでは、ホームサーバーの共有フォルダをすべてバックアップします。

(7) 詳細については、Windows Home Server Console Help を参照してください。



重要 : ハードドライブをサーバーストレージに追加するとき、ハードドライブをサーバーストレージ全スペースの一部にしてください。他の目的で使用するために、ハードドライブを取り外さないでください。他の目的でハードドライブを使用する場合、まずハードドライブを選択し、**取り外し**をクリックする必要があります。



注意 : サーバーストレージにハードディスク取りアブを追加しているとき、ハードディスクドライブはフォーマットされます。ハードディスクドライブをサーバーストレージに追加する前に、重要なファイルのバックアップを取っていることを確認してください。ハードディスクドライブをフォーマットすると、ハードディスクドライブのファイルはすべて削除されます。

ハードディスクドライブを取り外す



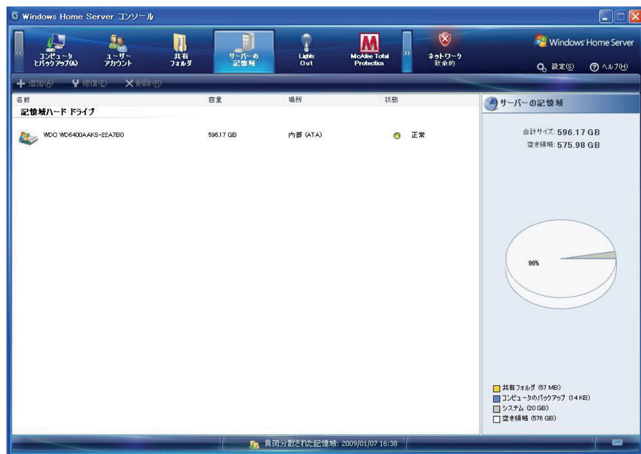
注意：ホームサーバーから HDD を取り外す前に、Windows Home Server Console からハードドライブを常に取り外してください。[ハードドライブの取り外しウィザード] を実行せずにホームサーバーから HDD を物理的に取り外すと、ハードドライブのすべてのファイルが失われ、再び接続しようとしてもそのハードドライブを見つけることはできなくなります。

1 Windows Home Server Console からハードドライブを安全に取り外す。

(1) システムトレイで、**Windows Home Server** アイコンをダブルクリックします。

(2) **Windows Home Server Console** にログオンします。

(3) **サーバーストレージ**タブをクリックします。



(4) 取り外すハードドライブを選択し、**取り外し**をクリックして [ハードドライブの取り外しウィザード] を実行します。

(5) [次へ] をクリックします。

(6) [終了] をクリックします。

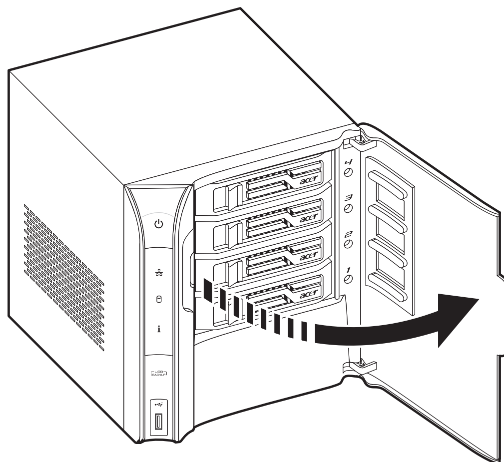
(7) 選択したドライブの HDD インジケータが紫に点灯します。

2　ホームサーバーから HDD を取り外す。



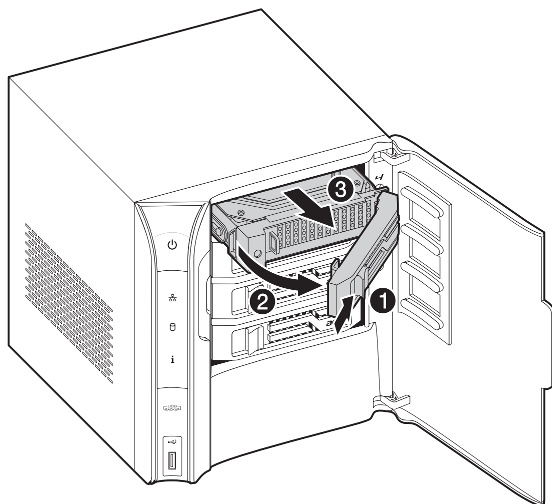
注 : HDD を取り外す前に、フロントパネルの HDD インジケータが紫に点灯することを確認してください。

(1)　ホームサーバーのドアを開けます。



(2)　HDD キャリアラッチ (1) を押します。

(3) レバー (2) を引っ張り、シャーシ (3) から HDD キャリアをスライドさせます。



(4) ホームサーバーのドアを閉じます。

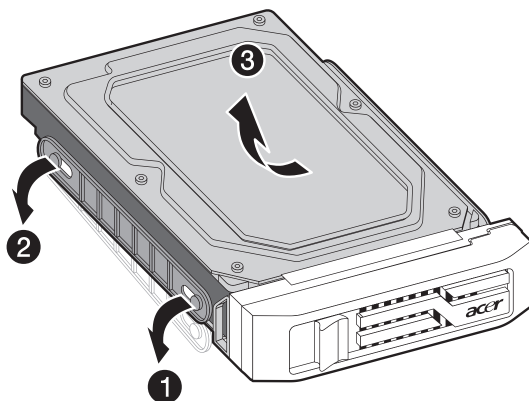
故障したハードディスクドライブを交換する

1 " ハードディスクドライブを取り外す " セクションの 1 ～ 2 のステップを実行します。

2 キャリアから HDD を取り出します。

(1) 図のように、左側のレール (1, 2) をそっと開けます。

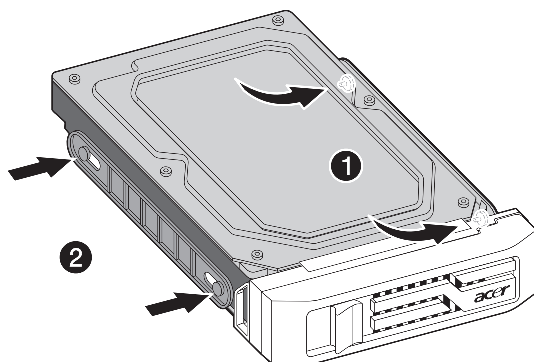
(2) キャリア (3) からドライブを取り出します。



3 新しい HDD をキャリアに取り付ける。

(1) 新しいドライブをキャリアの右側に挿入し、ピンを HDD の取り付け穴 (1) に揃えます。

(2) 左側のレールをわずかに曲げて、ピンを HDD の取り付け穴 (2) に差し込みます。



4 新しい HDD をホームサーバーに取り付ける。

6 トラブルシューティング

本章では、ホームサーバーを使用している間に発生すると思われる状況のリストを説召します。

自分で問題を解決できない場合、販売店または最寄りの Acer 代理店に連絡して解決方法をお尋ねください。

最初のステップのチェックリスト

- AC 電源は壁のコンセントで使用できますか？
- 電源装置は差し込まれていますか？シャーシ背面と AC 電源の AC ケーブルをチェックしてください。
- すべてのケーブルが正しく接続され、固定されていますか？
- すべての周辺装置が正しく取り付けられていますか？
- すべてのデバイスドライバが適切にインストールされていますか？
- フロントパネルのシステム電源ボタンを押してシステムの電源をオンにしましたか（電源インジケータが点灯する必要があります）？
- システム電源はシステムに適切に接続され、100-127 V または 200-240 V のコンセントに差し込まれていますか？

ホームサーバーを復旧または復元する

Aspire easyStore シリーズにはサーバーリカバリ DVD が含まれており、システム障害 (つまり、オペレーティングシステムが破損し、メインシステムが故障した) 後にホームサーバーを復旧します。このディスクを使って、ホームサーバーを工場出荷時デフォルトに復元することもできます。

サーバーリカバリでは、ホームサーバーのシステム設定とユーザーアカウントが失われます。「工場出荷時へのリセット」オプションを選択すると、ホームサーバーのハードドライブのデータはすべて失われます。

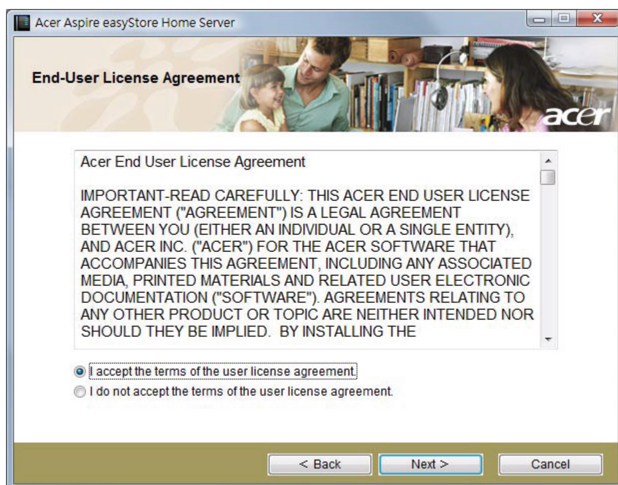
ホームサーバーを復旧するには :

1 Aspire easyStore シリーズのサーバーリカバリ DVD を、ネットワークに接続されたコンピュータの DVD ドライブにセットします。

または、**Acer ServerRecovery Utility.exe** ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。サーバーリカバリウィンドウが表示されます。

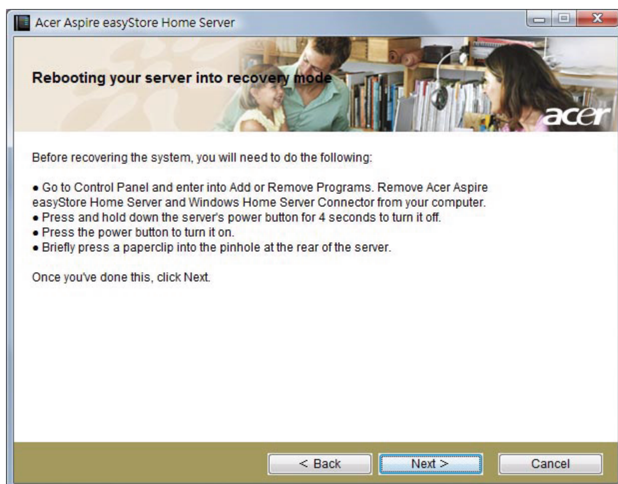


2　**次へ** をクリックします。



3　エンドユーザーライセンス合意書をお読みください。合意条件に同意されたら、「ユーザーライセンス合意書の条件を受け入れる」オプションボタンを選択します。

4　**次へ** をクリックします。



5　Acer Aspire easyStore シリーズと Windows Home Server Connector をコンピュータからアンインストールします。

6 ホームユーザーを復旧します。

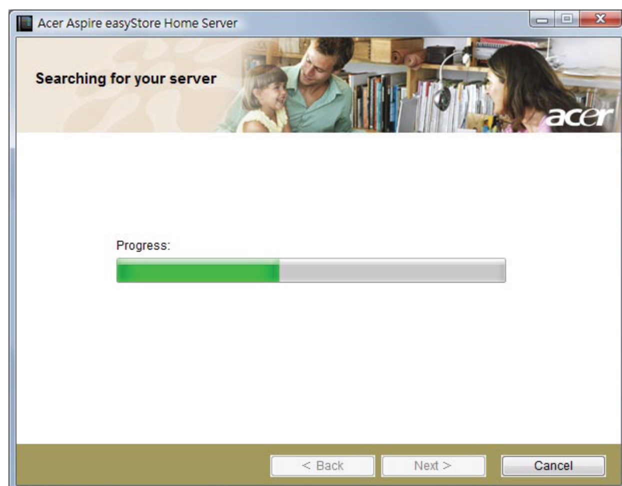
(1) 電源ボタンを 4 秒間押し続けて、ホームサーバーの電源をオフにします。

(2) 電源ボタンを押してシステムをオンにします。

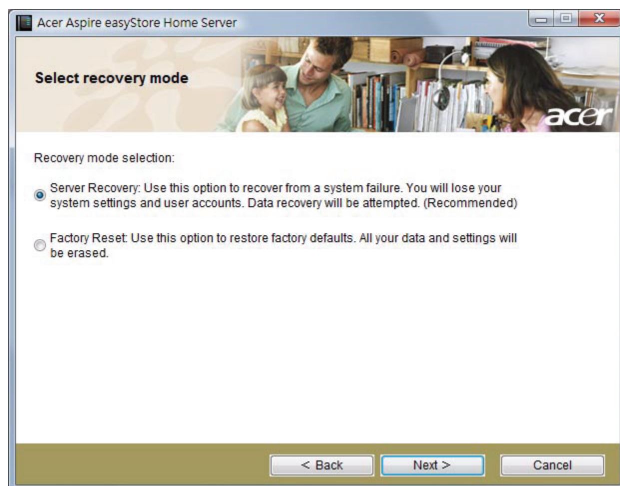
(3) 装置の背面を操作できるように、システムを回転します。

(4) 伸ばしたクリップの端を開口部に挿入し、リカバリ / リセットボタンを押し下げます。

7 **次へ** をクリックします。



8 「サーバーリカバリ : このオプションを使用してシステム障害から回復します。システム設定とユーザーアカウントは失われます。データリカバリが試みられます。(推奨)」オプションボタンを選択します。



9 **次へ**をクリックし、復旧プロセスが終了するまでオンスクリーンの指示に従います。

ホームサーバーを工場出荷時デフォルト設定に復元するには :

1 サーバーリカバリ DVD を、ネットワークに接続されたコンピュータの DVD ドライブにセットします。

または、**Acer ServerRecovery Utility.exe** ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。サーバーリカバリウィンドウが表示されます。

2 **次へ** をクリックします。

3 エンドユーザーライセンス合意書をお読みください。合意条件に同意されたら、「ユーザーライセンス合意書の条件を受け入れる」オプションボタンを選択します。

4 **次へ** をクリックします。

5 Acer Aspire easyStore シリーズと Windows Home Server Connector をコンピュータからアンインストールします。

6 ホームサーバーを復旧またはリセットします。

(1) 電源ボタンを 4 秒間押し続けて、ホームサーバーの電源をオフにします。

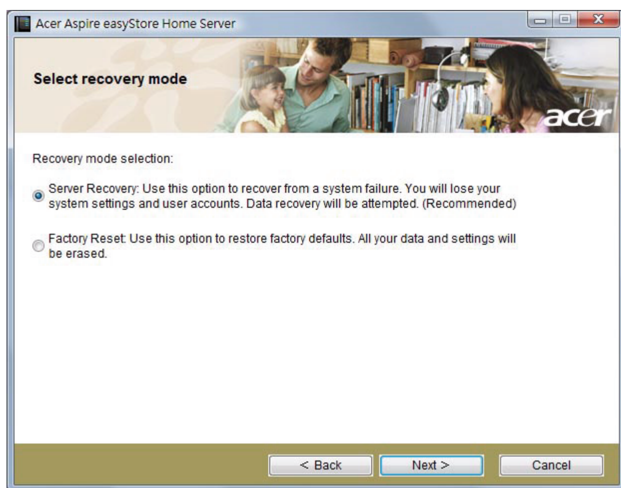
(2) 電源ボタンを押してシステムをオンにします。

(3) 装置の背面を操作できるように、システムを回転します。

(4) 伸ばしたクリップの端を開口部に挿入し、リカバリ / リセットボタンを押し下げます。

7 **次へ** をクリックします。

8 「工場出荷時リセット : このオプションを使用して工場出荷時 no デフォルトを復元します。データと設定はすべて消去されます」オプションボタンを選択します。



9 **次へ**をクリックし、復元プロセスが終了するまでオンスクリーンの指示に従います。

ホームコンピュータを復元する

ホームサーバーに保管されたバックアップで、ホームコンピュータを前の時に容易に復元することができます。これは、PC リカバリディスクを使用して実行できます。CD は Windows オペレーティングシステムやアプリケーションを含め、バックアップからホームコンピュータにすべてのファイルを復元するために使用できます。

ホームコンピュータを復元するには：



重要 : ホームコンピュータを復元するには、Windows Home Server パスワードが必要です

1 Aspire easyStore シリーズ PC のリカバリディスクを、復元するコンピュータの CD ドライブにセットします。

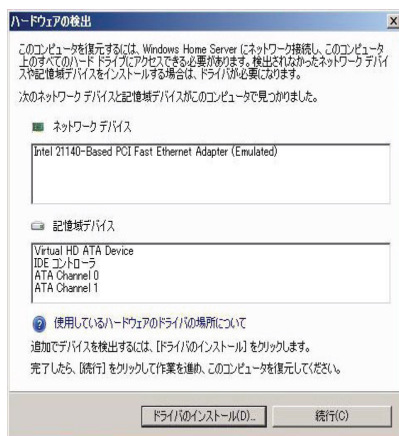
2 コンピュータを再起動し、CD からブートします。

3 「コンピュータの復元ウィザード」の指示に従い、ホームコンピュータのハードドライブを復元します。



注 : 復元する前に、ホームコンピュータをイーサネットネットワークケーブルでホームネットワークに接続する必要があります。ワイヤレス接続はサポートされていません。

PC リカバリディスクでホームコンピュータを起動するとき、NIC (ネットワークインターフェイスカード) と検出されたストレージデバイスが一覧で表示され、以下のスクリーンショットで示すように、ドライバをロードするオプションも示されます。ドライバファイルがある USB フラッシュまたは USB フロッピードライブを検索し、検出された Windows ドライバをロードします。



ドライバがロードされなかったりコンピュータの復旧中に NIC ドライバが見つからなかった場合、以下に一覧表示されたオプションを実行してドライバをインストールできます。これを実行しなかった場合、ホームコンピュータはホームサーバーに接続してバックアップを取得することができません。

- Vista 互換の NIC ドライバを使用することができます。このドライバは Windows Vista または Windows XP を実行するコンピュータと完全な互換性があります。USB フラッシュまたは USB フロッピードライブから Vista 互換の NIC ドライバをダウンロードしてインストールします。
- [ハードウェアの検出] ダイアログボックスで、「私のハードウェアはどこで見つかりますか ?」をクリックすると、ドライバの検出とロード方法の詳細に関するオンラインヘルプファイルが表示されます。
- 詳細については、http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/windowshomeserver/support.mspx にアクセスしてください。

4 Windows Home Server がホームコンピュータをバックアップするたびに、ホームサーバーに保管されたバックアップにホームコンピュータのドライバを保存します。PC リカバリディスクを使用するとき、ホームコンピュータにドライバが必要かどうかが通知され、そのホームコンピュータ用のバックアップを開きドライバを USB フラッシュまたは USB フロッピードライブにコピーすることができます。

バックアップからファイルを復元する

Windows Home Server でバックアップされたホームネットワークのクライアントコンピュータから、失われたファイルを参照または復元することができます。

バックアップからファイルやフォルダを復元するには：

1 **Windows Home Server Console** を開きます。
2 **コンピュータとバックアップ**タブをクリックします。
3 **ホームコンピュータ**を選択し、**バックアップの表示**をクリックします。
4 **バックアップ**を選択し、**開く**をクリックします。
5 **ボリューム**を選択して開き、**開く**をクリックします。



注 : バックアップが開いている間に、「バックアップを開く」状態ウィンドウが表示されます。仮想ボリュームドライバをインストールした後にコンピュータを再起動するように求められたら、このメッセージを無視してください。コンピュータを再起動する必要はありません。

6 復元するバックアップファイルやフォルダを、ホームコンピュータのフォルダにドラッグします。
7 復元するファイルやフォルダのコピーが完了したら、ウィンドウを閉じます。

Aspire easyStore シリーズ Software Update でホームサーバーを更新する

Aspire easyStore シリーズ Software Update は、ホームサーバーの BIOS、ドライバ、およびアドインソフトウェアを容易に更新できるツールです。

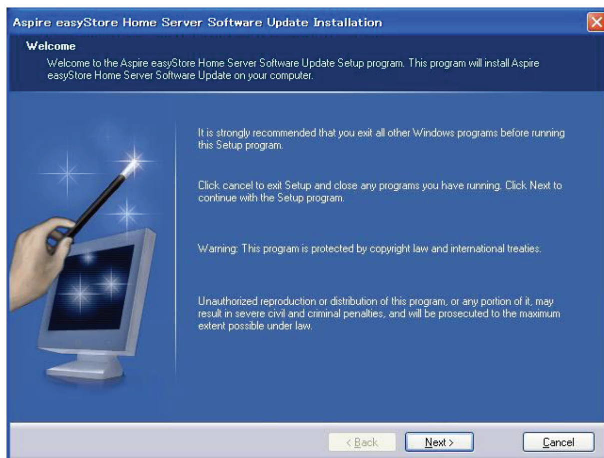
Aspire easyStore シリーズ Software ソフトウェアユーティリティをインストールするには：

1 Aspire easyStore シリーズソフトウェアインストールディスクを、ホームホームコンピュータの光学ドライブにセットします。インストールウィザードが起動します。

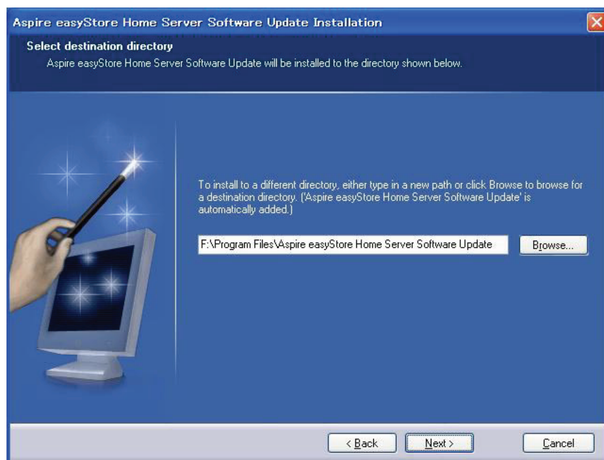
または、**Client Installation.exe** ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。ようこそ画面が表示されます。



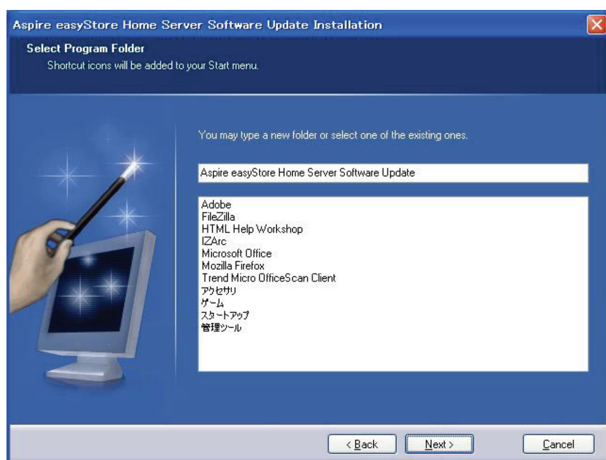
2　ソフトウェアの更新をクリックします。ようこそ画面が表示されます。



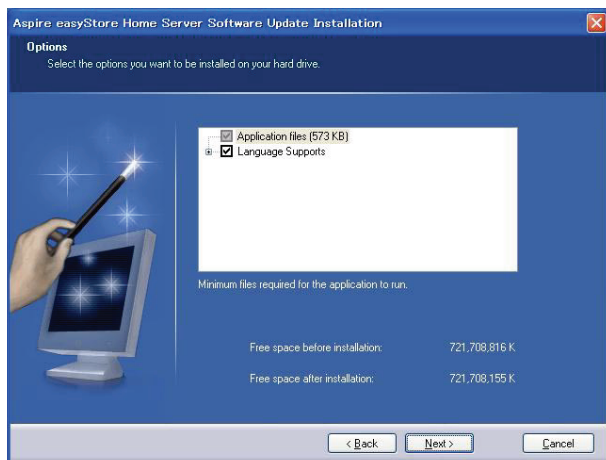
3　次へ をクリックします。



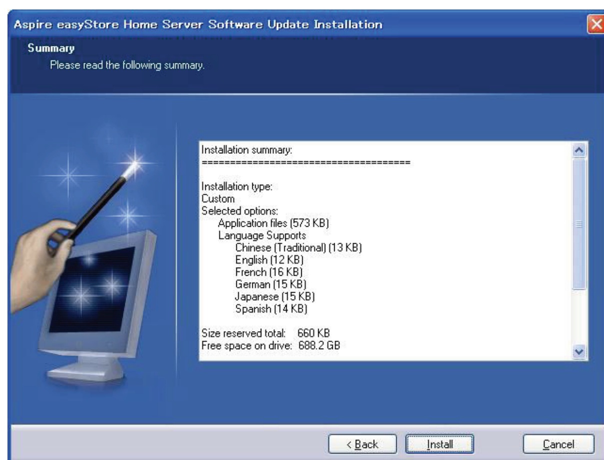
4 宛先ディレクトリを選択し、**次へ**をクリックします。



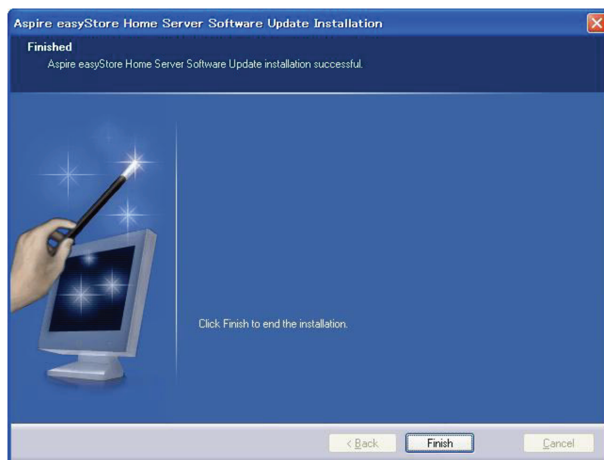
5 プログラムフォルダを選択するか、新しいフォルダを入力し、**次へ**をクリックします。



6 ハードドライブにインストールするオプションを選択し、**次へ**をクリックします。



7 **インストール** をクリックします。



8 **終了**をクリックします。

ソフトウェア更新ユーティリティでホームサーバーを更新するには：

1 Aspire easyStore シリーズ Software Update ユーティリティがコンピュータにインストールされていることを確認します。詳細については、前のセクションを参照してください。

2 コンピュータで、**スタート** > **すべてのプログラム** > **Aspire easyStore シリーズ Software Update** > **ソフトウェアの更新**を順に選択します。



3 「ホームサーバー」フィールドで、更新するホームサーバーを選択します。**再スキャン**をクリックしてリストをリフレッシュできます。

4 [ソフトウェア \BIOS] フィールドで、**参照**をクリックしてホームサーバーに更新されるソフトウェア /BIOS パッケージを指定します。

5 名前とパスワードを入力します。

6 入力したアカウントを次にソフトウェア更新を実行する時に表示する場合、[アカウントの保存する] チェックボックスを選択します。

7 インストールをクリックし、オンスクリーンの指示に従って更新を完了します。

特定の問題と修正措置

次には、サーバーを使用している間に発生すると思われる問題が含まれます。考えられる解決策は、各問題に対して一覧されています。

電源インジケータが点灯しません。

- フロントパネルの電源ボタンがオンになっていることを確認してください。
- 電源コードが正しく接続していることを確認してください。
- 壁のコンセントに電気がきていることを確認してください。別のデバイスを差し込んでテストしてください。

HDD ステータスインジケータが点灯しません。

ハードドライブが対応していることを確認してください。

ドライブが事前に取り付けられていた場合、技術サポートにご連絡ください。

ホームサーバーがネットワークに接続できず、フロントパネルのネットワークインジケータが点灯しません。

- ネットワークケーブルが、システムの背面パネルの正しいコネクタに接続されていることを確認してください。
- 別のネットワークケーブルを試してください。
- ブロードバンドルータに電気がきていることを確認してください。

ホームコンピュータがホームサーバーに接続できません

- フロントパネルの電源ボタンがオンになっていることを確認してください。
- フロントパネルのネットワークインジケータが青に点灯していることを確認してください。
- ブロードバンドルータに電気がきていることを確認してください。
- ファイアウォールが接続を妨害していないことを確認してください。詳細については、Windows Home Server Console Help を参照してください。
- ホームサーバーをシャットダウンして再起動してください。
- ホームサーバーをリセットしてください

ホームサーバーを復旧またはリセットするには：

(1) **Windows Home Server Console** を起動します。
(2) **オプション** をクリックします。
(3) ドロップダウンメニューから「Windows Home Server Console をリセットする」を選択します。
(4) **[OK]** をクリックします。

バックアップサービスが作動しません

「バックアップサービスが作動しない場合、コンソールをリセットしてください」というエラーメッセージが表示されたら、ホームサーバーをリセットしてみてください。

1 **Windows Home Server Console** を起動します。
2 **オプション** をクリックします。
3 ドロップダウンメニューから「Windows Home Server Console をリセットする」を選択します。
4 **[OK]** をクリックします。

Windows Home Server のバックアップデータベースは、どのようにすれば保存できますか

Windows Home Server からバックアップデータベースをコピーする方法の詳細については、http://www.microsoft.com/windows/products/winfamily/windowshomeserver/support.mspx にアクセスしてください。

URL を通してアクセスしているとき、Web ブラウザで「Aspire easyStore シリーズ Remote Access」ページを表示できません

- Web サイトの接続が「設定」でオンになっていることを確認してください。
- JavaScript がブラウザでオンになっていることを確認してください。

  Internet Explorer 7 で JavaScript を有効にするには：

  (1) Internet Explorer メニューから、**Tools** に移動し、[インターネット] オプションを選択します。
  (2) **セキュリティ**タブを選択し、**レベルのカスタマイズ**をクリックします。
  (3) 「アクティブ スクリプト」までスクロールダウンし、**有効にする**を選択します。
  (4) **[OK]** をクリックします。

Aspire easyStore シリーズ Remote Access ページで接続できないコンピュータがあります

ホームコンピュータがリモートデスクトップ接続を許可するように構成されていることを確認してください。

Windows XP を実行しているコンピュータを構成するには :

1 管理者権限を持つユーザーアカウントでコンピュータにログオンします。
2 **スタート**をクリックし、**マイ コンピュータ**を右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
3 「システムのプロパティ」ページで、**リモート**タブをクリックします。
4 「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」チェックボックスが選択されていることを確認します。
5 **リモート ユーザーの選択**をクリックします。管理者権限のあるユーザーアカウントが、自動的に接続できるようになります。追加のユーザーアカウントがこのコンピュータにリモートでアクセスできるようにする場合、**追加**をクリックしてこれらのユーザーアカウントを入力します。
6 Windows Firewall を使用している場合、**コントロールパネル**を開き、**Windows Firewall** をダブルクリックします。Windows Firewall がオンになっていることを確認します。**例外**タブをクリックし、**リモートデスクトップ**が選択されていることを確認します。
7 コンピュータを再起動します。

Windows Vista を実行しているコンピュータを構成するには :

1 管理者権限を持つユーザーアカウントでコンピュータにログオンします。
2 **スタート**をクリックし、**コンピュータ**を右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
3 **リモート設定**をクリックし、**続行**をクリックします。
4 [リモート デスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する（セキュリティのレベルは低くなります）] チェックボックスが選択されていることを確認します。



重要 :[ネットワーク レベル認証でリモート デスクトップを実行しているコンピュータからのみ接続を許可する (セキュリティのレベルは高くなります)] を選択すると、Windows Home Server Remote Access を介してこのコンピュータに接続できなくなり、このコンピュータに対する接続状態は [無効] になります。

5 **ユーザーの選択**をクリックします。管理者権限のあるユーザーアカウントが、自動的に接続できるようになります。追加のユーザーアカウントがこのコンピュータにリモートでアクセスできるようにする場合、[追加] をクリックしてこれらのユーザーアカウントを入力します。

6 Windows Firewall を使用している場合、**コントロールパネル**を開き、**セキュリティ**をクリックします。**Windows Firewall** をクリックします。Windows Firewall がオンになっていることを確認します。**設定の変更**をクリックし、**続行**をクリックします。**例外**タブをクリックし、[リモートデスクトップ] が選択されていることを確認します。

7 コンピュータを再起動します。

Windows Home Server のパスワードを忘れました

パスワードを思い出せない場合、ホームサーバーをリセットする必要があります。詳細については、ì ホームサーバーを復旧または復元するページ 118 を参照してください。